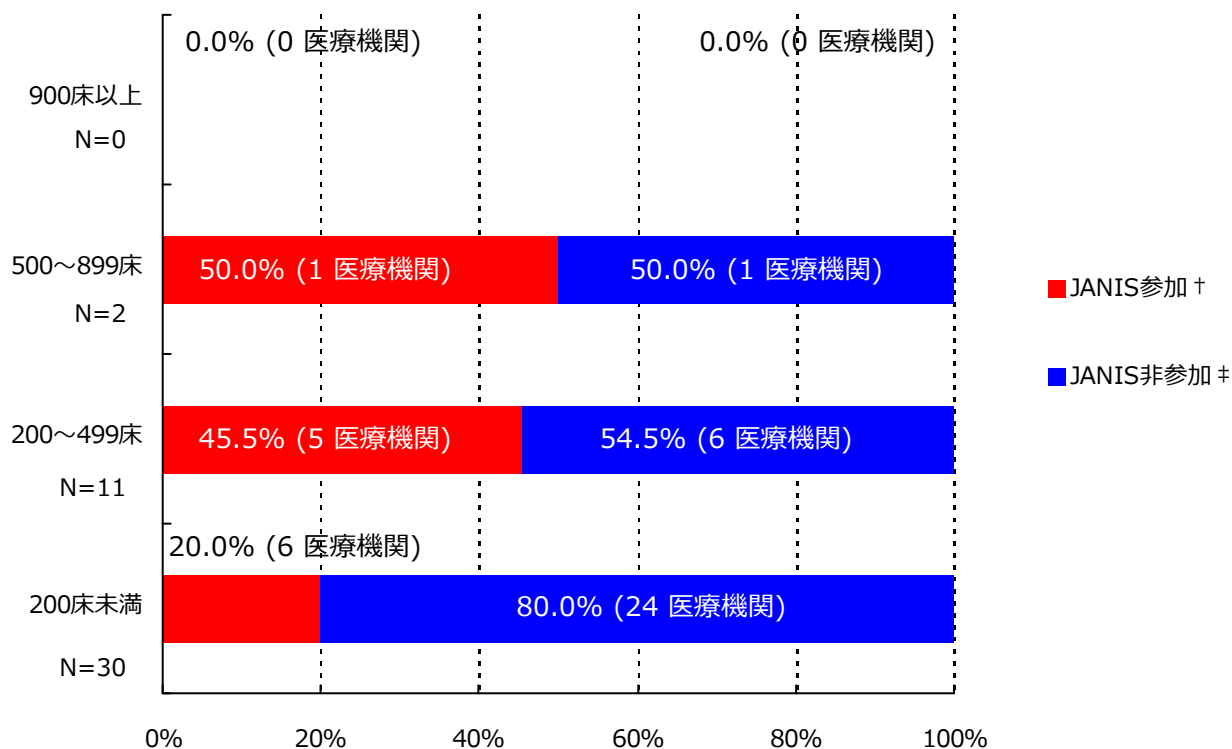


(鳥取県)
公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(12医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2024年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2023年 都道府県別医療機関数¶) - (2024年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2023年 都道府県別医療機関数¶	2024年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	2	1 (50%)
200～499床	11	5 (45.5%)
200床未満	30	6 (20%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	43	12 (27.9%)

¶2023年医療施設（動態）調査を参照した。

(鳥取県)

公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	9	37,242	0	117	3.14%	0.86 3.77 11.46 -----
2023年	12	48,781	0	154	3.16%	0.00 4.98 14.06 -----
2024年	12	41,975	4	180	4.29%	2.53 4.93 11.78 -----

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2023年	12	48,781	0	6	0.12%	0.00 0.00 0.85 -----
2024年	12	41,975	0	1	0.02%	0.00 0.00 1.35 -----

(鳥取県)

公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

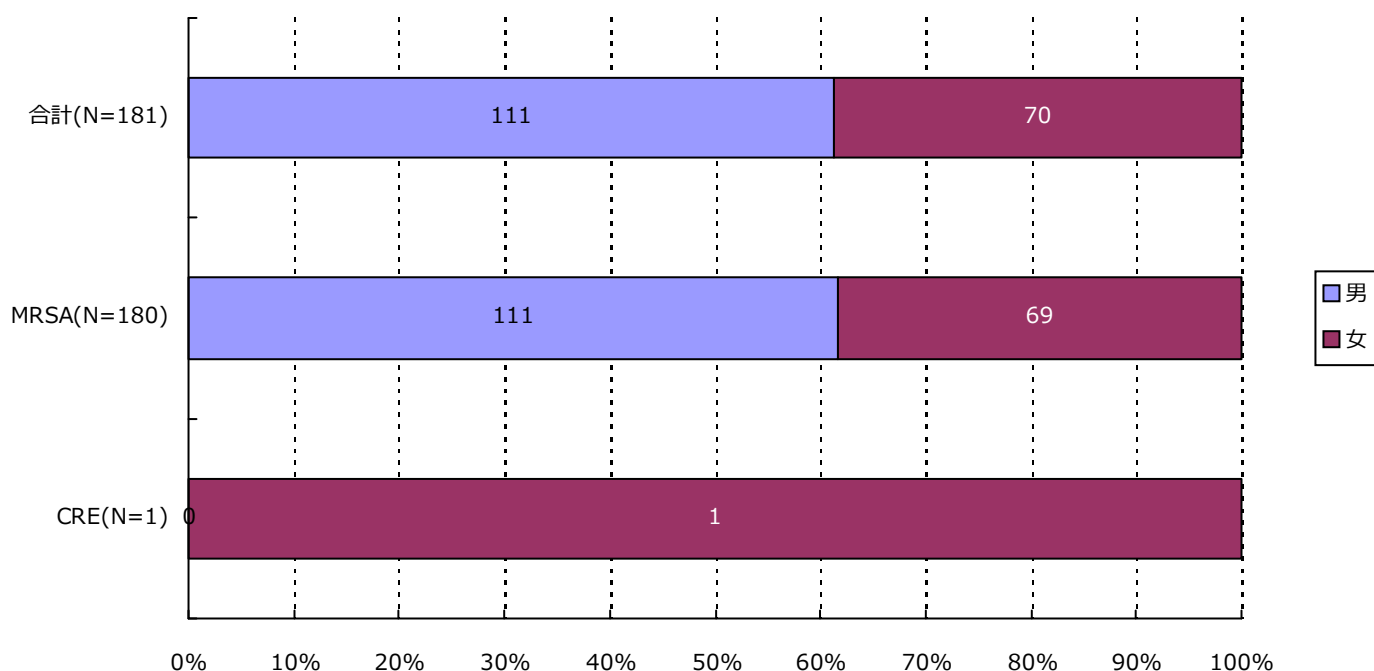
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

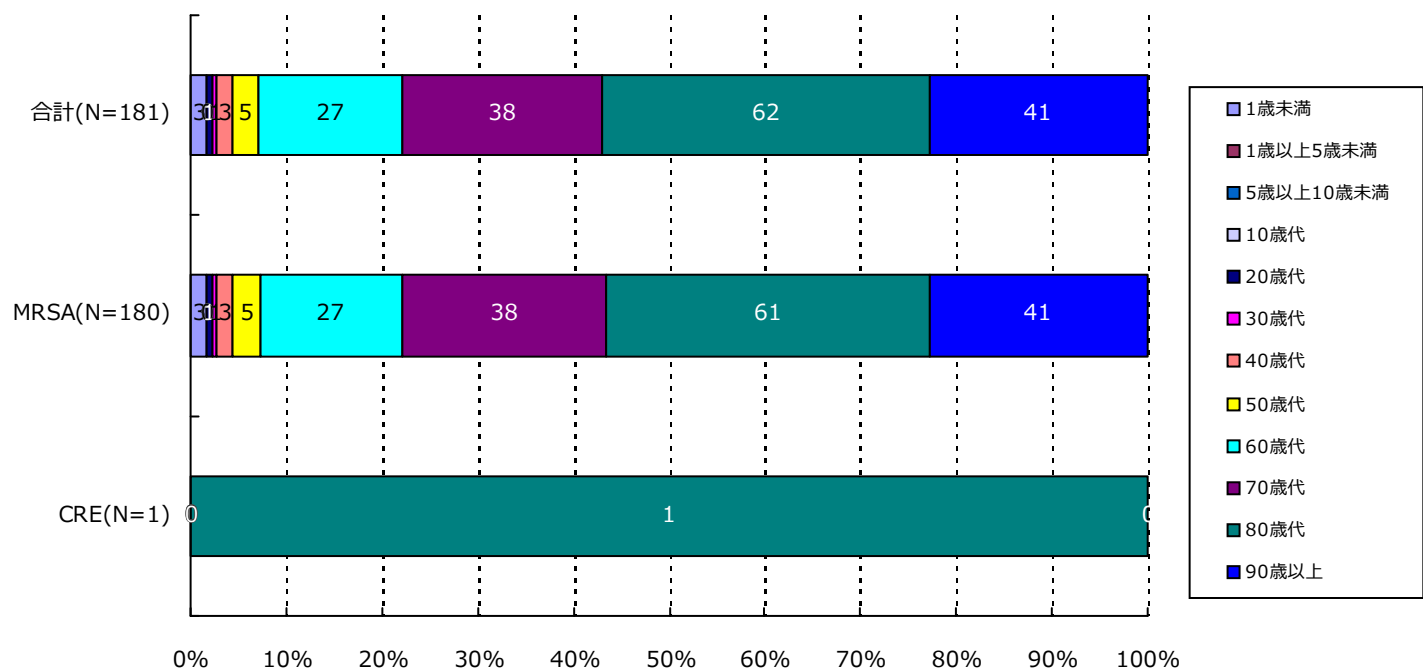
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	111(61.3%)	111(61.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
女	70(38.7%)	69(38.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
合計	181	180	0	0	0	0	0	1

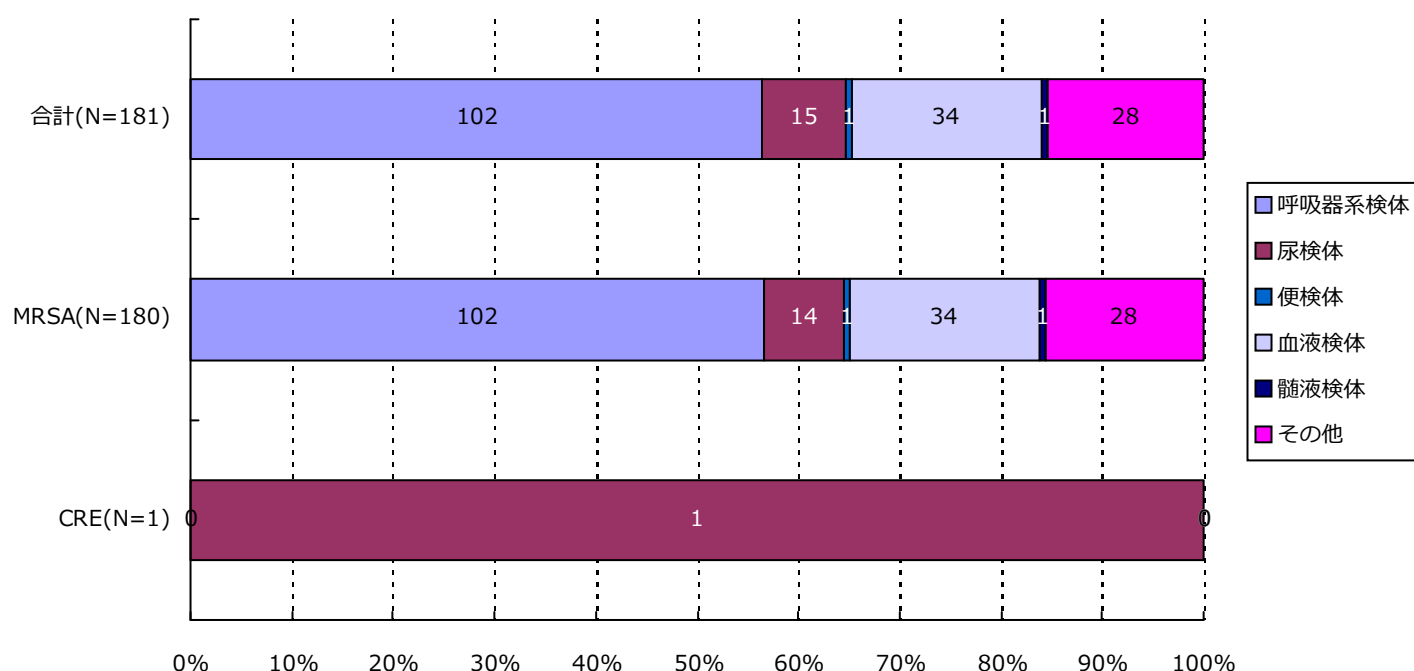


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	3(1.7%)	3(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	1(0.6%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	1(0.6%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	3(1.7%)	3(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	5(2.8%)	5(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	27(14.9%)	27(15.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	38(21.0%)	38(21.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
80歳代	62(34.3%)	61(33.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
90歳以上	41(22.7%)	41(22.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	181	180	0	0	0	0	0	1

5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳

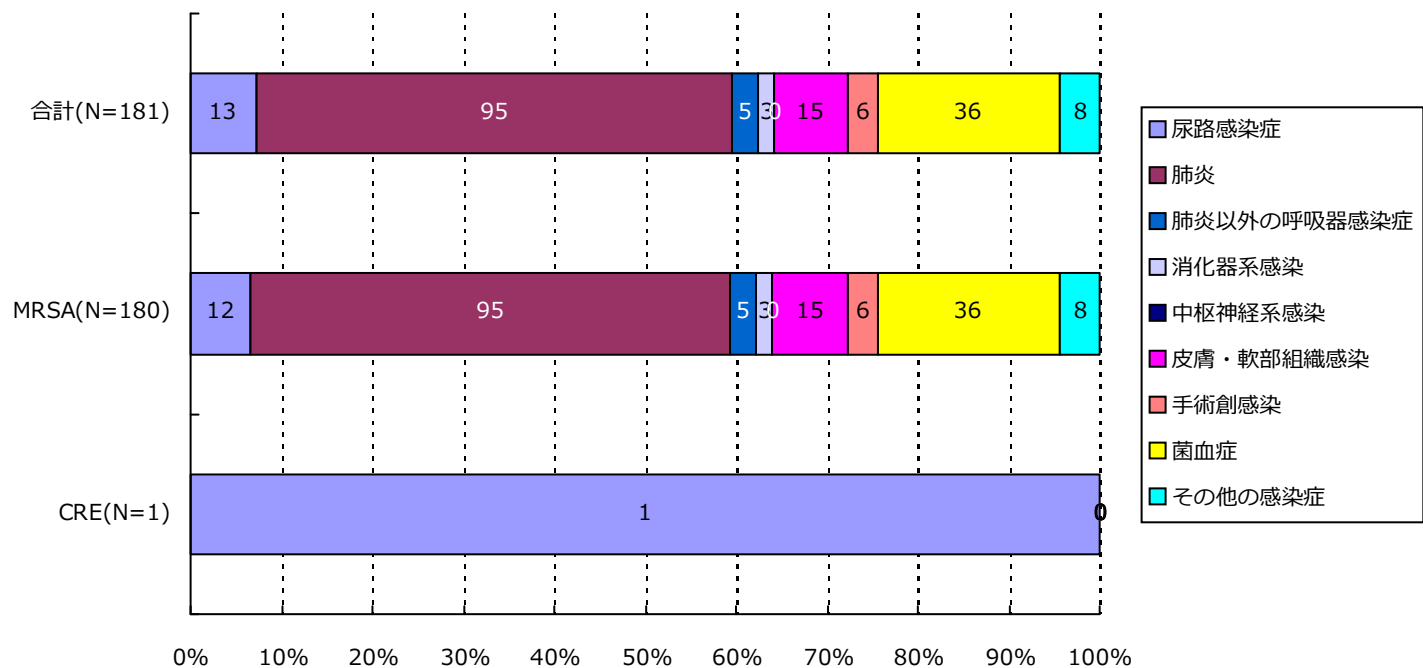


分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	102(56.4%)	102(56.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	15(8.3%)	14(7.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
便検体	1(0.6%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	34(18.8%)	34(18.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	1(0.6%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	28(15.5%)	28(15.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	181	180	0	0	0	0	0	1

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

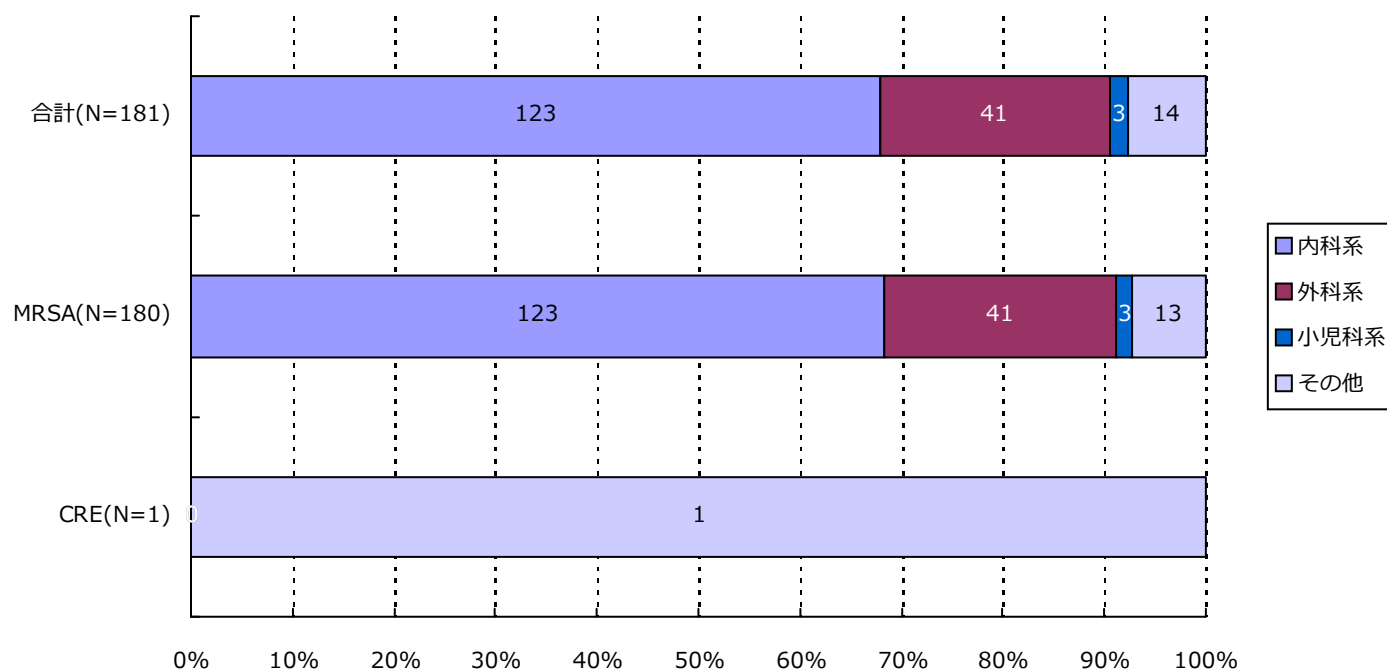


6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	13(7.2%)	12(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
肺炎	95(52.5%)	95(52.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	5(2.8%)	5(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	3(1.7%)	3(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	15(8.3%)	15(8.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	6(3.3%)	6(3.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	36(19.9%)	36(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	8(4.4%)	8(4.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	181	180	0	0	0	0	0	1

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	123(68.0%)	123(68.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	41(22.7%)	41(22.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
小児科系	3(1.7%)	3(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	14(7.7%)	13(7.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
合計	181	180	0	0	0	0	0	1

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆脾外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	老人内科		眼科
	心療内科		耳鼻咽喉科
	その他		性病科
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
リハビリテーション科		小児科	
麻酔科		新生児科	
その他		新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm *
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

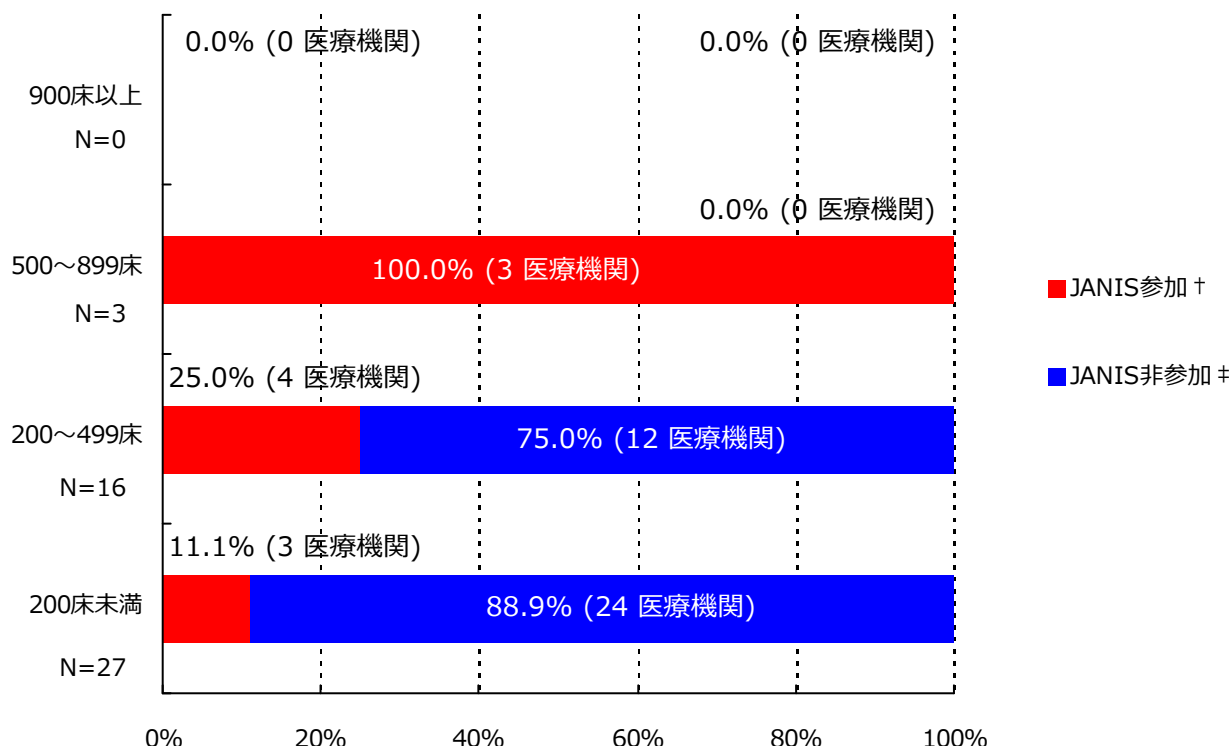
* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査の基準に準拠

(島根県)
公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(10医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2024年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2023年 都道府県別医療機関数¶) - (2024年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2023年 都道府県別医療機関数¶	2024年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	3	3 (100%)
200～499床	16	4 (25%)
200床未満	27	3 (11.1%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	46	10 (21.7%)

¶2023年医療施設（動態）調査を参照した。



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2022年	10	61,770	1	144	2.33%	0.00 2.29 4.98
2023年	10	62,202	2	137	2.20%	0.00 2.30 7.82
2024年	10	63,928	1	122	1.91%	0.00 1.56 14.34

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2022年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2023年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2024年	10	63,928	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.12

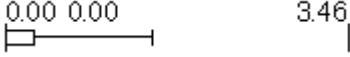
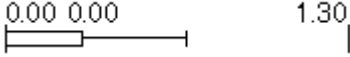


2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2023年	10	62,202	0	6	0.10%	
2024年	10	63,928	0	15	0.23%	

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	10	61,770	0	18	0.29%	
2023年	10	62,202	1	11	0.18%	
2024年	10	63,928	0	10	0.16%	

(島根県)

公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

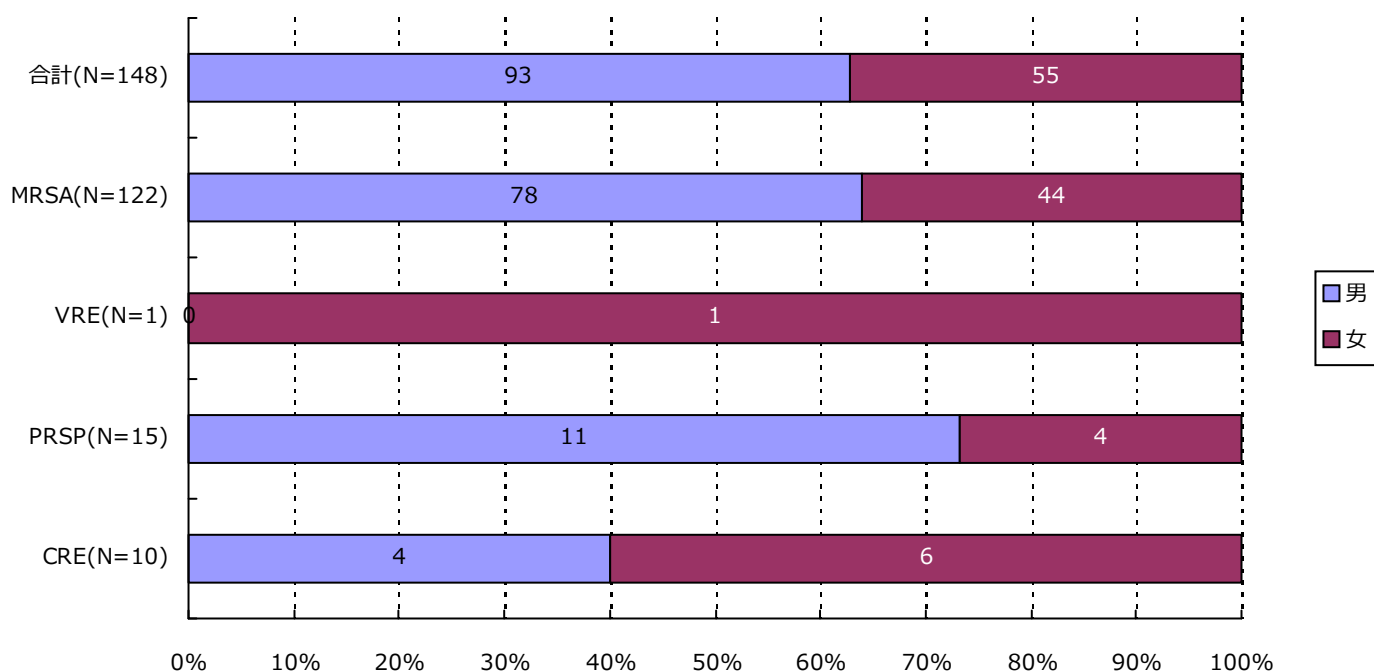
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

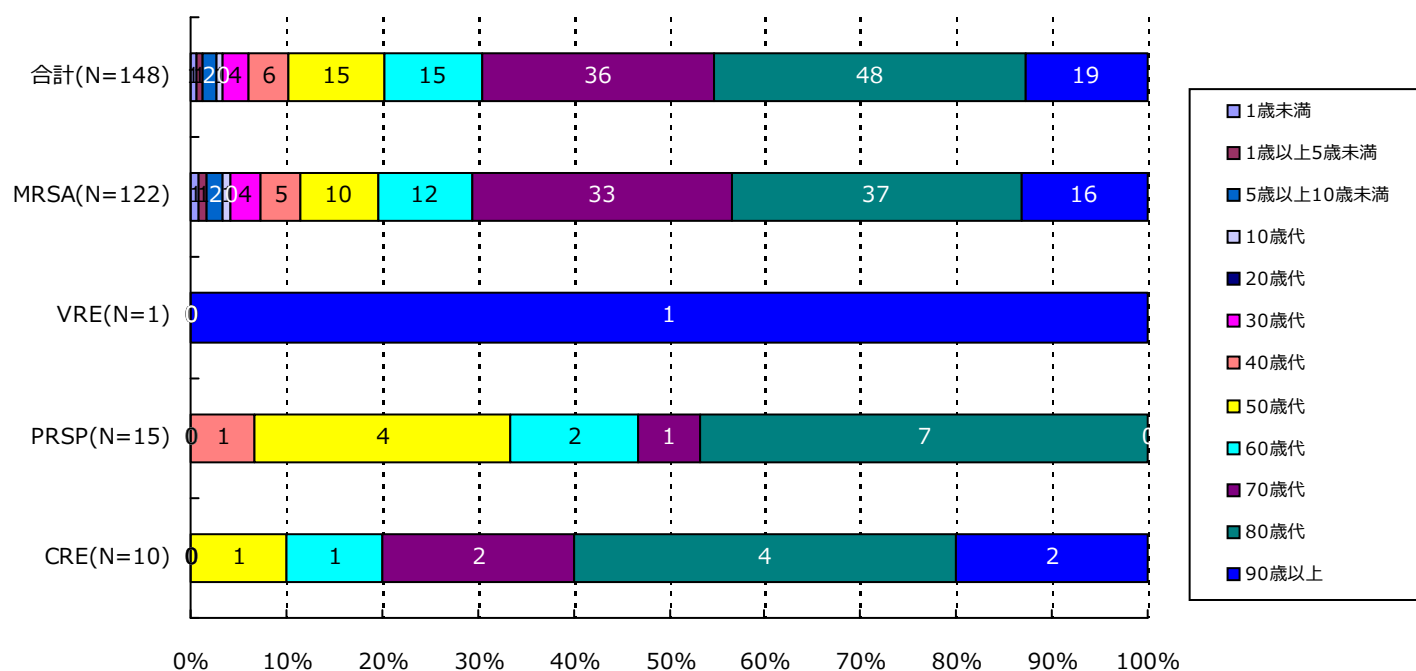
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



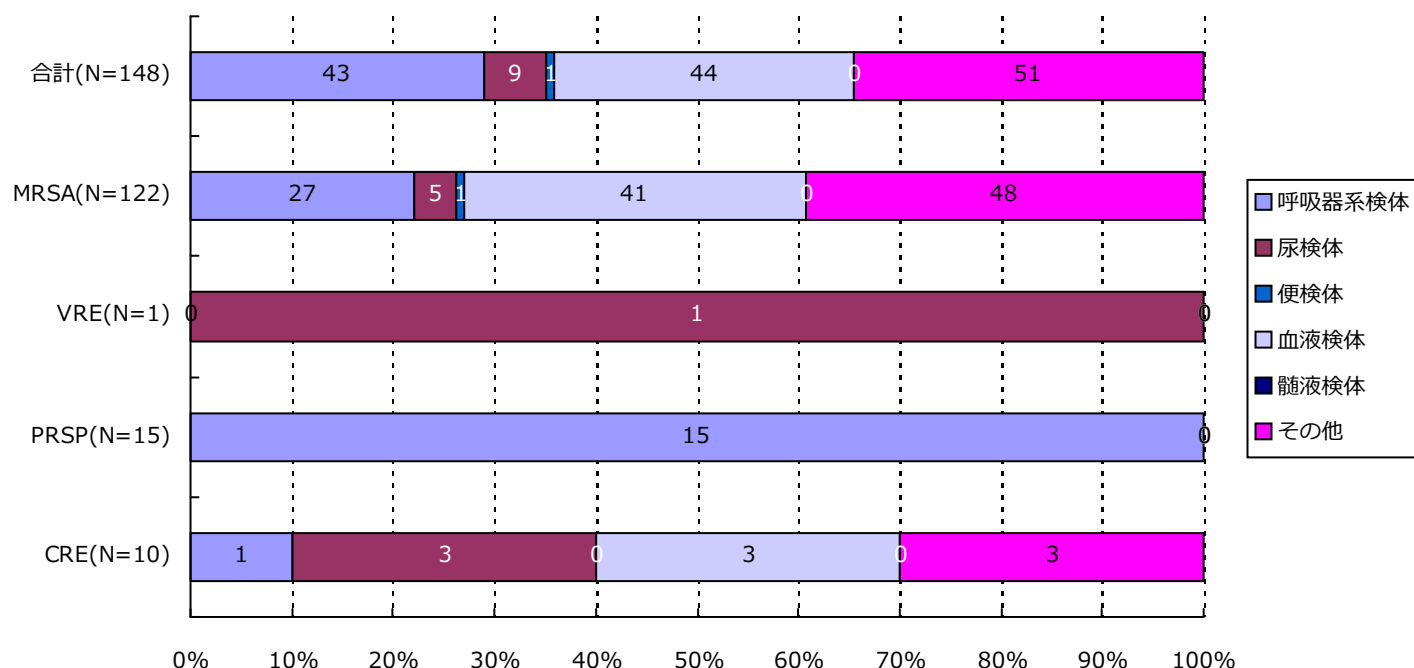
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	93 (62.8%)	78 (63.9%)	0 (-)	0 (-)	11 (73.3%)	0 (-)	0 (-)	4 (40.0%)
女	55 (37.2%)	44 (36.1%)	0 (-)	1 (100.0%)	4 (26.7%)	0 (-)	0 (-)	6 (60.0%)
合計	148	122	0	1	15	0	0	10

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	1(0.7%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(0.7%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	2(1.4%)	2(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.7%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	4(2.7%)	4(3.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	6(4.1%)	5(4.1%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	15(10.1%)	10(8.2%)	0(-)	0(-)	4(26.7%)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
60歳代	15(10.1%)	12(9.8%)	0(-)	0(-)	2(13.3%)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
70歳代	36(24.3%)	33(27.0%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	2(20.0%)
80歳代	48(32.4%)	37(30.3%)	0(-)	0(-)	7(46.7%)	0(-)	0(-)	4(40.0%)
90歳以上	19(12.8%)	16(13.1%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(20.0%)
合計	148	122	0	1	15	0	0	10

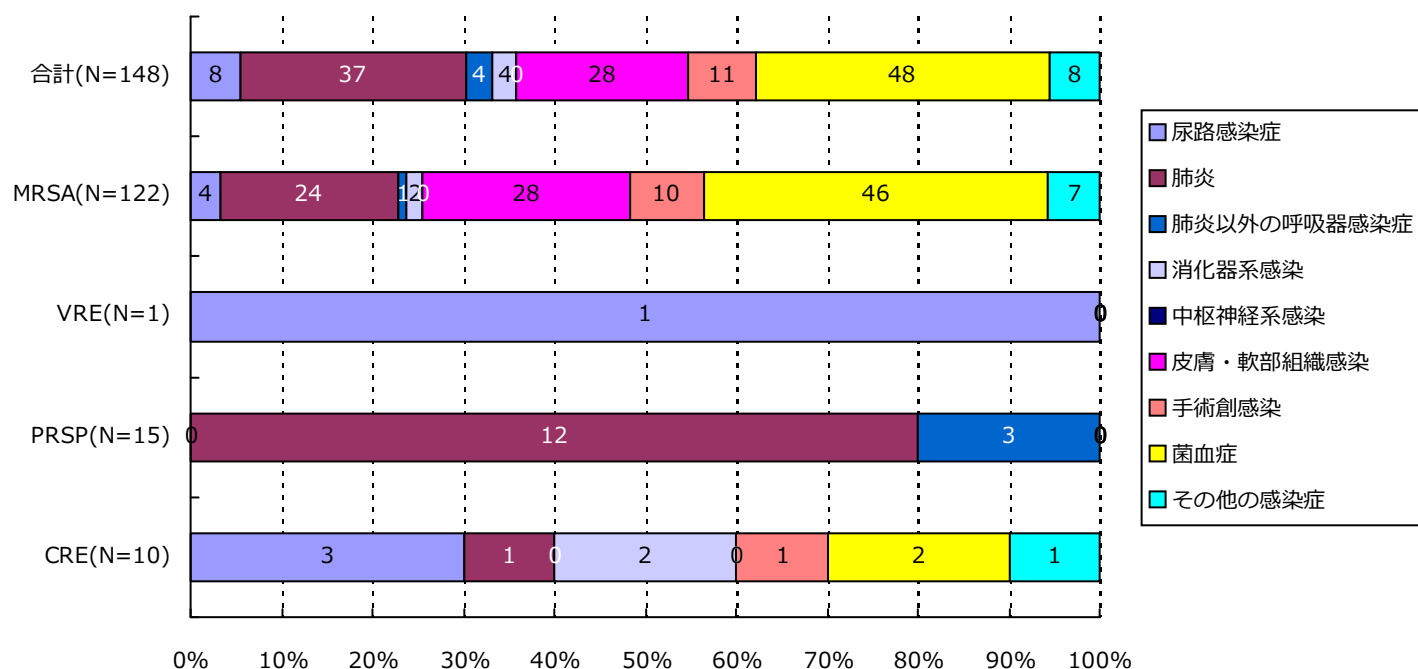
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	43(29.1%)	27(22.1%)	0(-)	0(-)	15(100.0%)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
尿検体	9(6.1%)	5(4.1%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(30.0%)
便検体	1(0.7%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	44(29.7%)	41(33.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(30.0%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	51(34.5%)	48(39.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(30.0%)
合計	148	122	0	1	15	0	0	10

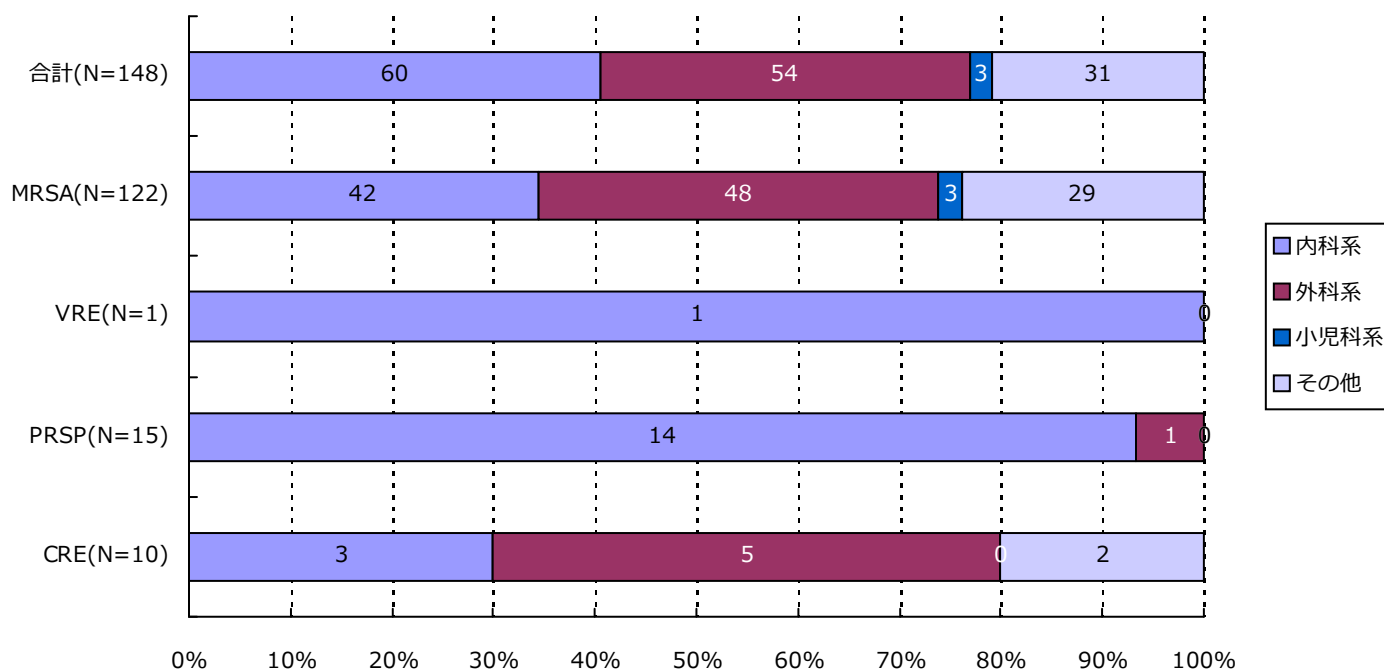
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	8(5.4%)	4(3.3%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(30.0%)
肺炎	37(25.0%)	24(19.7%)	0(-)	0(-)	12(80.0%)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
肺炎以外	4(2.7%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	3(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	4(2.7%)	2(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(20.0%)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	28(18.9%)	28(23.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	11(7.4%)	10(8.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
菌血症	48(32.4%)	46(37.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(20.0%)
その他	8(5.4%)	7(5.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
合計	148	122	0	1	15	0	0	10

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	60(40.5%)	42(34.4%)	0(-)	1(100.0%)	14(93.3%)	0(-)	0(-)	3(30.0%)
外科系	54(36.5%)	48(39.3%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	5(50.0%)
小児科系	3(2.0%)	3(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	31(20.9%)	29(23.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(20.0%)
合計	148	122	0	1	15	0	0	10

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆脾外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	老人内科		眼科
	心療内科		耳鼻咽喉科
	その他		性病科
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
リハビリテーション科		小児科	
麻酔科		新生児科	
その他		新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL†かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

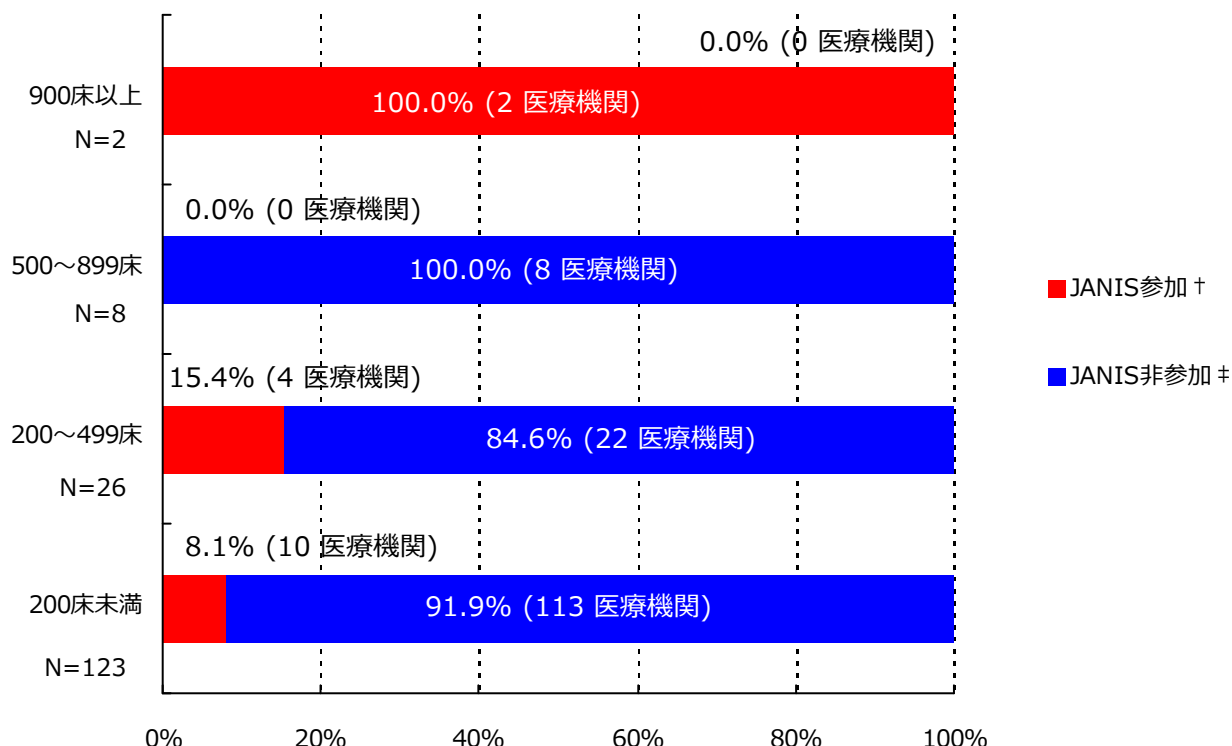
* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査の基準に準拠

(岡山県)
公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(16医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2024年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2023年 都道府県別医療機関数¶) - (2024年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2023年 都道府県別医療機関数¶	2024年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	2 (100%)
500～899床	8	0 (0%)
200～499床	26	4 (15.4%)
200床未満	123	10 (8.1%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	159	16 (10.1%)

¶2023年医療施設（動態）調査を参照した。

(岡山県)

公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	15	91,771	2	323	3.52%	0.00 3.61 17.79
2023年	16	93,597	1	321	3.43%	0.00 4.02 30.00
2024年	16	94,161	2	305	3.24%	0.00 3.47 7.33

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	15	91,771	0	3	0.03%	0.00 0.00 0.31
2023年	16	93,597	0	12	0.13%	0.00 0.00 1.55
2024年	16	94,161	0	3	0.03%	0.00 0.00 0.76



2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2022年	15	91,771	0	8	0.09%	0.00 0.00 0.45 └─┘
2023年	16	93,597	0	13	0.14%	0.00 0.00 0.78 └─┘
2024年	16	94,161	0	19	0.20%	0.00 0.00 1.13 └─┘

(岡山県)

公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

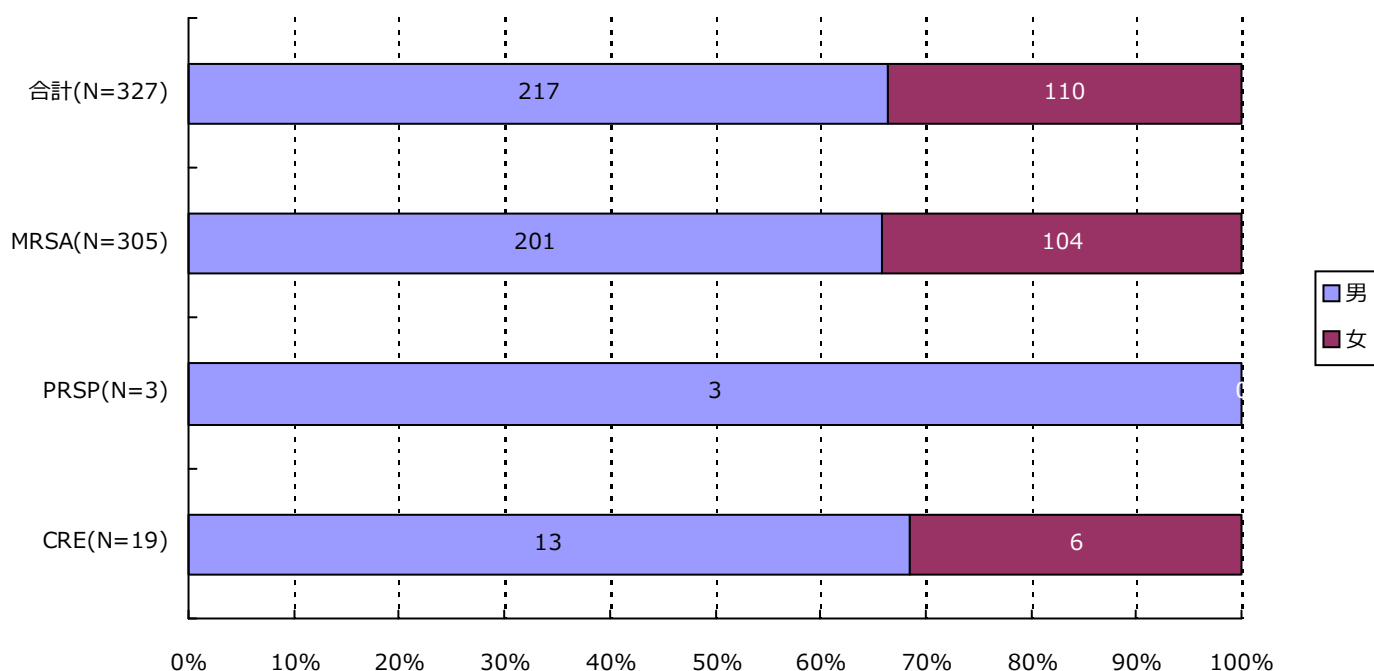
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

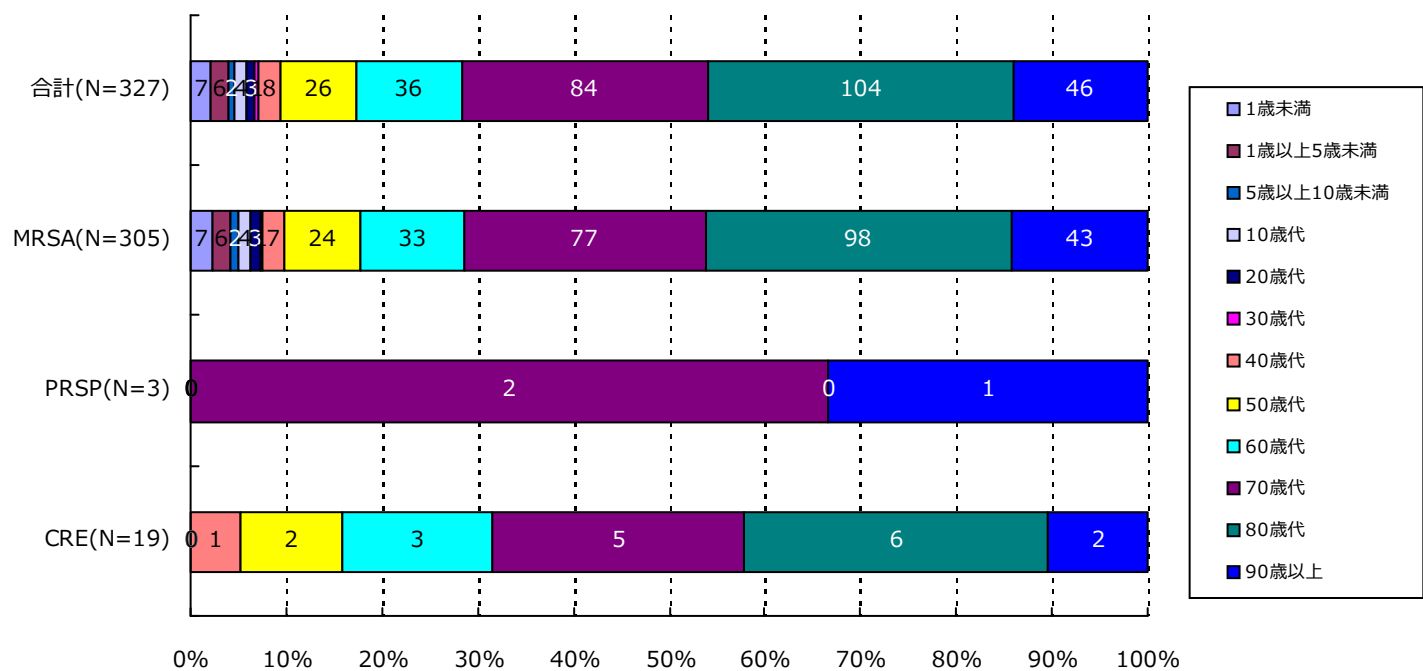
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	217(66.4%)	201(65.9%)	0(-)	0(-)	3(100.0%)	0(-)	0(-)	13(68.4%)
女	110(33.6%)	104(34.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(31.6%)
合計	327	305	0	0	3	0	0	19

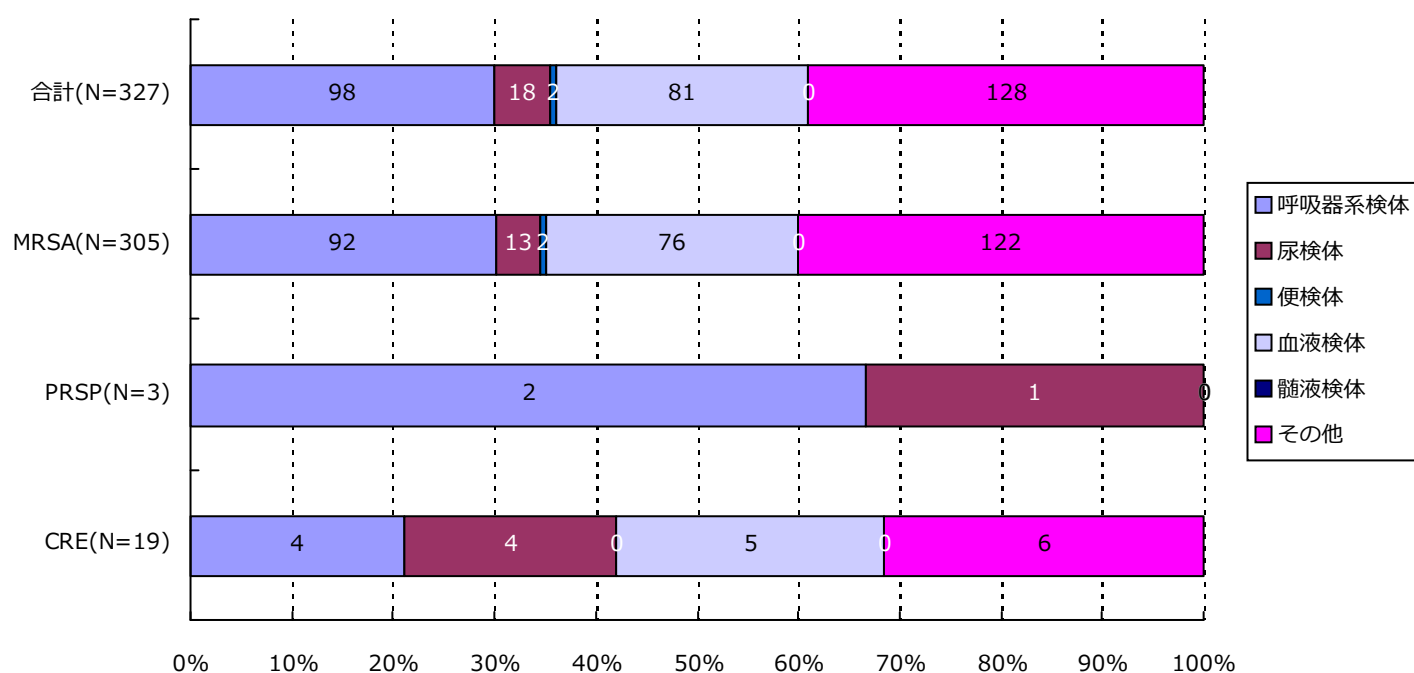


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	7(2.1%)	7(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	6(1.8%)	6(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	2(0.6%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	4(1.2%)	4(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	3(0.9%)	3(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	8(2.4%)	7(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(5.3%)
50歳代	26(8.0%)	24(7.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(10.5%)
60歳代	36(11.0%)	33(10.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(15.8%)
70歳代	84(25.7%)	77(25.2%)	0(-)	0(-)	2(66.7%)	0(-)	0(-)	5(26.3%)
80歳代	104(31.8%)	98(32.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(31.6%)
90歳以上	46(14.1%)	43(14.1%)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	0(-)	2(10.5%)
合計	327	305	0	0	3	0	0	19

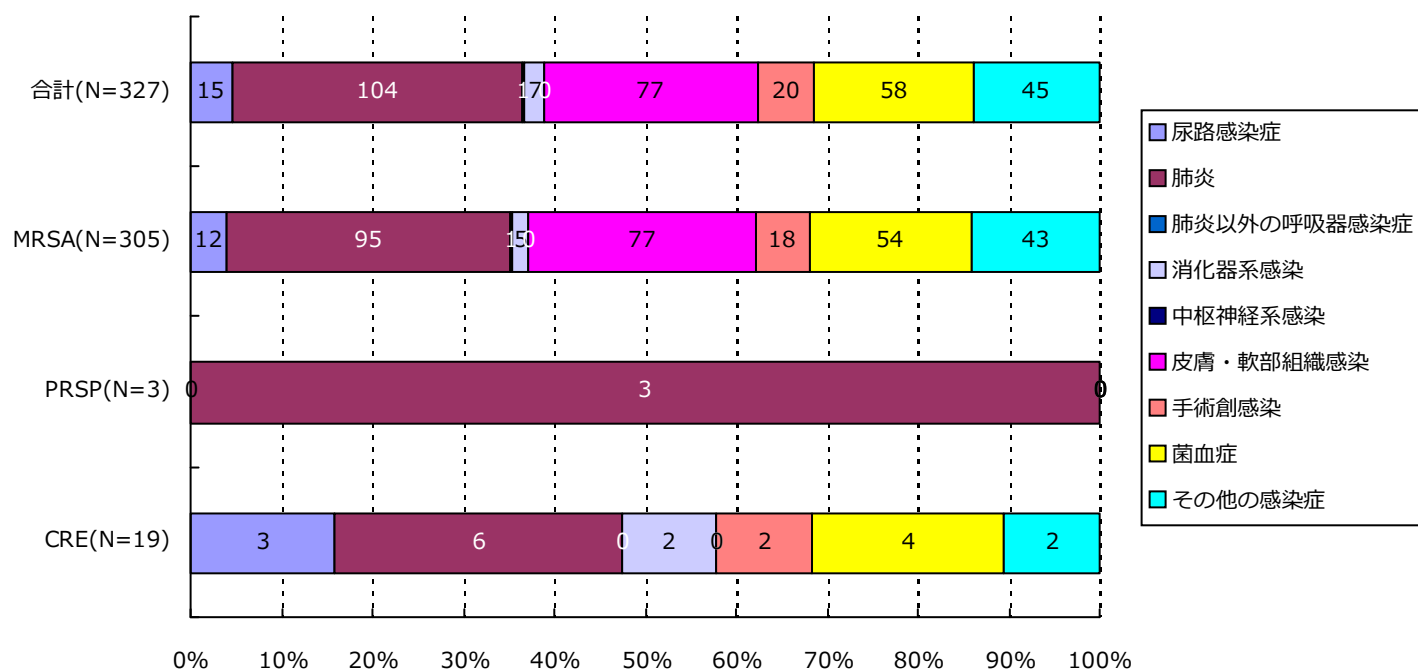
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	98(30.0%)	92(30.2%)	0(-)	0(-)	2(66.7%)	0(-)	0(-)	4(21.1%)
尿検体	18(5.5%)	13(4.3%)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	0(-)	4(21.1%)
便検体	2(0.6%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	81(24.8%)	76(24.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(26.3%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	128(39.1%)	122(40.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(31.6%)
合計	327	305	0	0	3	0	0	19

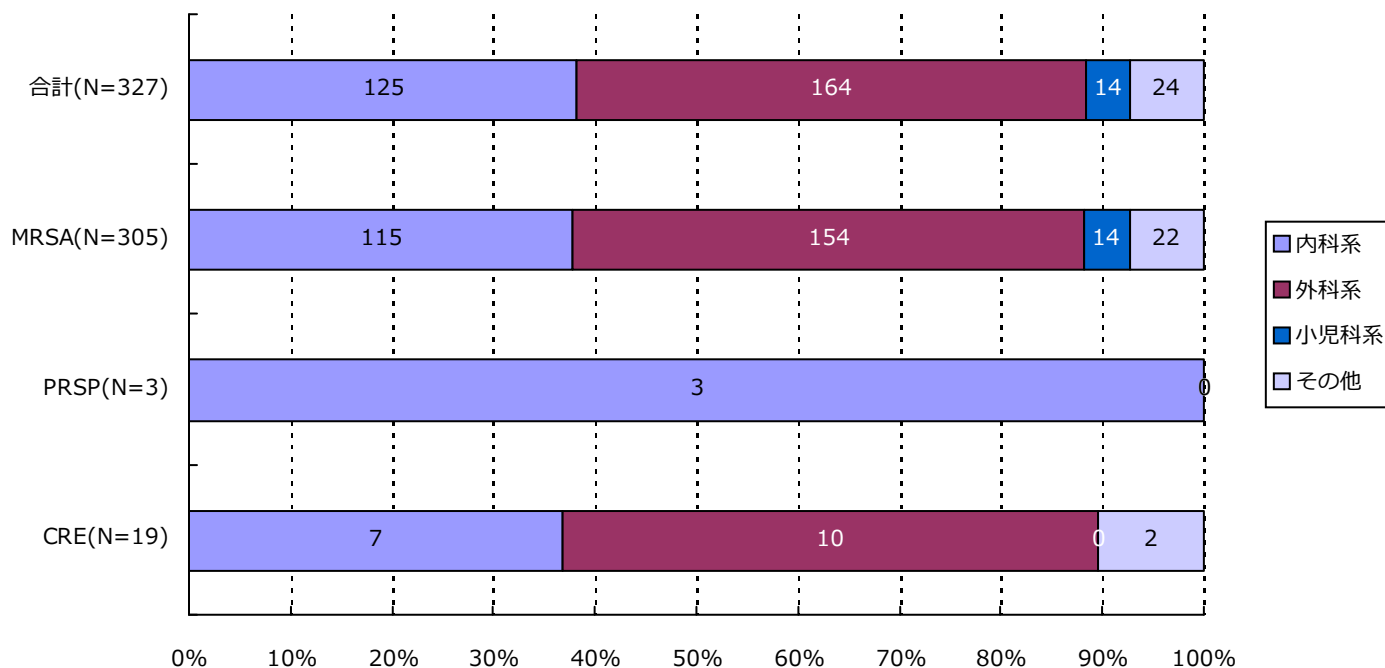
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	15(4.6%)	12(3.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(15.8%)
肺炎	104(31.8%)	95(31.1%)	0(-)	0(-)	3(100.0%)	0(-)	0(-)	6(31.6%)
肺炎以外	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	7(2.1%)	5(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(10.5%)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	77(23.5%)	77(25.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	20(6.1%)	18(5.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(10.5%)
菌血症	58(17.7%)	54(17.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	4(21.1%)
その他	45(13.8%)	43(14.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(10.5%)
合計	327	305	0	0	3	0	0	19

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	125(38.2%)	115(37.7%)	0(-)	0(-)	3(100.0%)	0(-)	0(-)	7(36.8%)
外科系	164(50.2%)	154(50.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	10(52.6%)
小児科系	14(4.3%)	14(4.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	24(7.3%)	22(7.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(10.5%)
合計	327	305	0	0	3	0	0	19

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

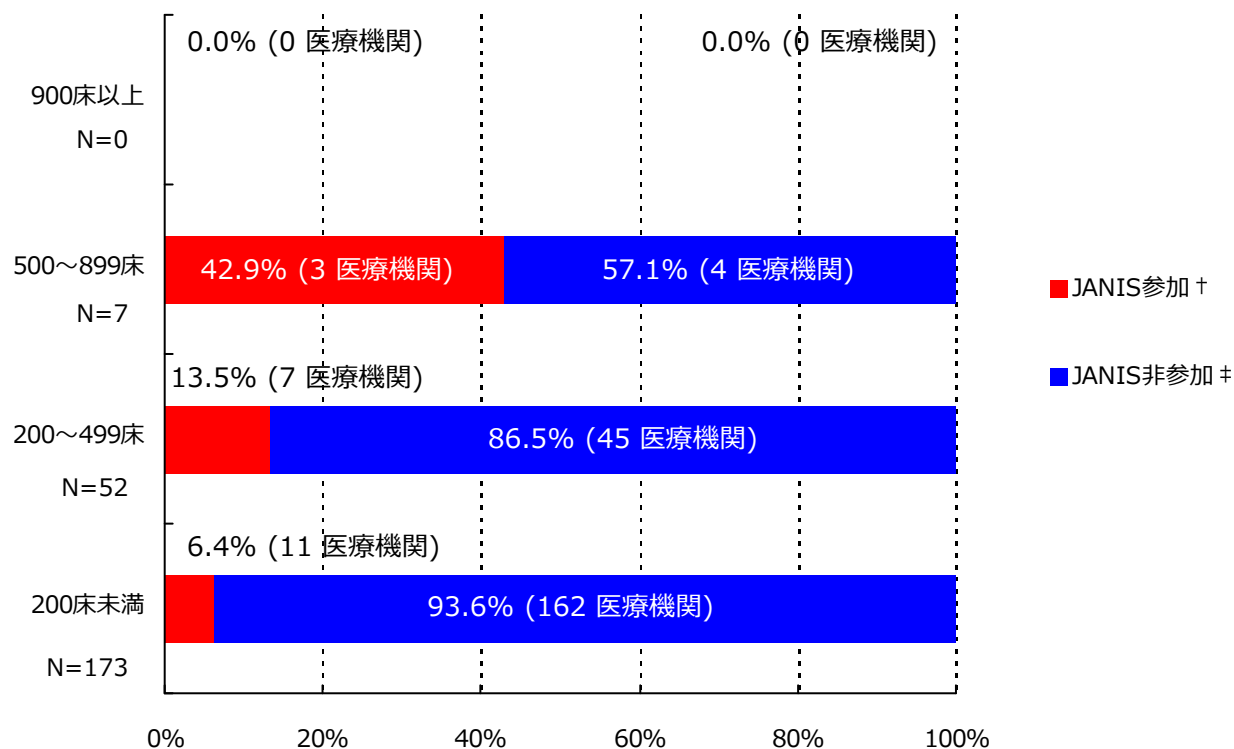
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm *
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(21医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2024年1月～12月 集計対象医療機関数

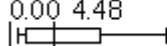
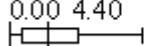
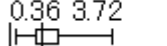
‡ JANIS非参加 = (2023年 都道府県別医療機関数¶) - (2024年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2023年 都道府県別医療機関数¶	2024年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	7	3 (42.9%)
200～499床	52	7 (13.5%)
200床未満	173	11 (6.4%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	232	21 (9.1%)

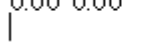
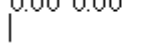
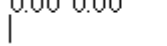
¶2023年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	17	100,152	5	380	3.79%	0.00 4.48 34.64 
2023年	22	107,942	8	408	3.78%	0.00 4.40 38.80 
2024年	21	90,673	8	361	3.98%	0.36 3.72 36.44 

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	17	100,152	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.05 
2023年	22	107,942	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.29 
2024年	21	90,673	0	1	0.01%	0.00 0.00 1.00 

2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	17	100,152	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.08
2023年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2024年	21	90,673	0	8	0.09%	0.00 0.00 10.16

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2023年	22	107,942	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.05
2024年	21	90,673	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.07



2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2022年	17	100,152	0	9	0.09%	0.00 0.00 0.52
2023年	22	107,942	0	13	0.12%	0.00 0.00 0.72
2024年	21	90,673	0	7	0.08%	0.00 0.00 0.30

(広島県)

公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

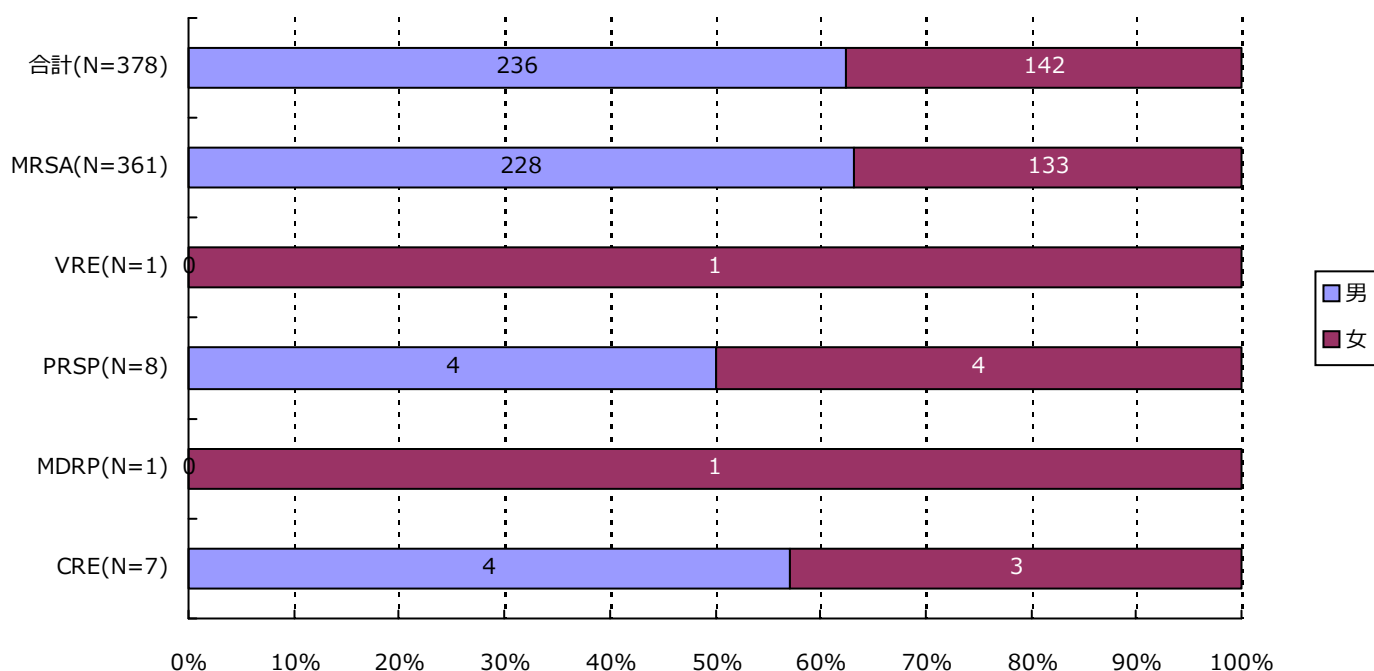
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

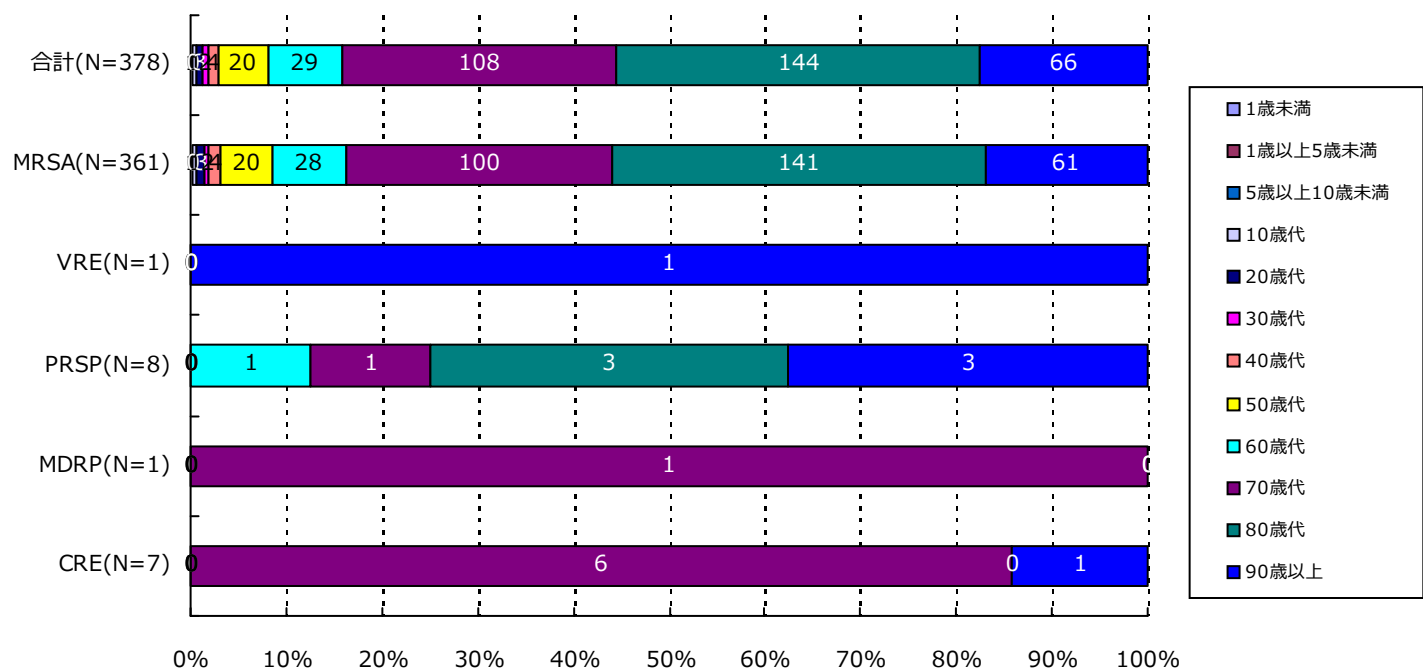
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	236(62.4%)	228(63.2%)	0(-)	0(-)	4(50.0%)	0(-)	0(-)	4(57.1%)
女	142(37.6%)	133(36.8%)	0(-)	1(100.0%)	4(50.0%)	1(100.0%)	0(-)	3(42.9%)
合計	378	361	0	1	8	1	0	7

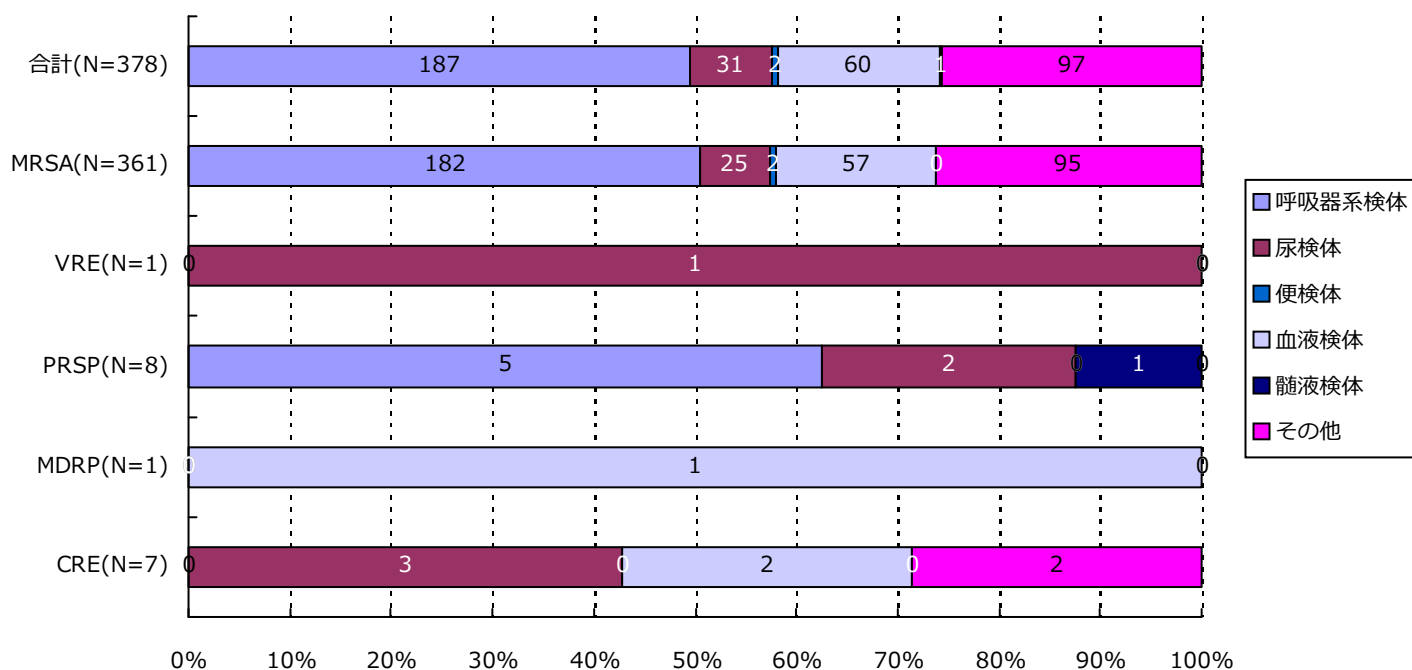


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	3(0.8%)	3(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(0.5%)	2(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	4(1.1%)	4(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	20(5.3%)	20(5.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	29(7.7%)	28(7.8%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	108(28.6%)	100(27.7%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	1(100.0%)	0(-)	6(85.7%)
80歳代	144(38.1%)	141(39.1%)	0(-)	0(-)	3(37.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	66(17.5%)	61(16.9%)	0(-)	1(100.0%)	3(37.5%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)
合計	378	361	0	1	8	1	0	7

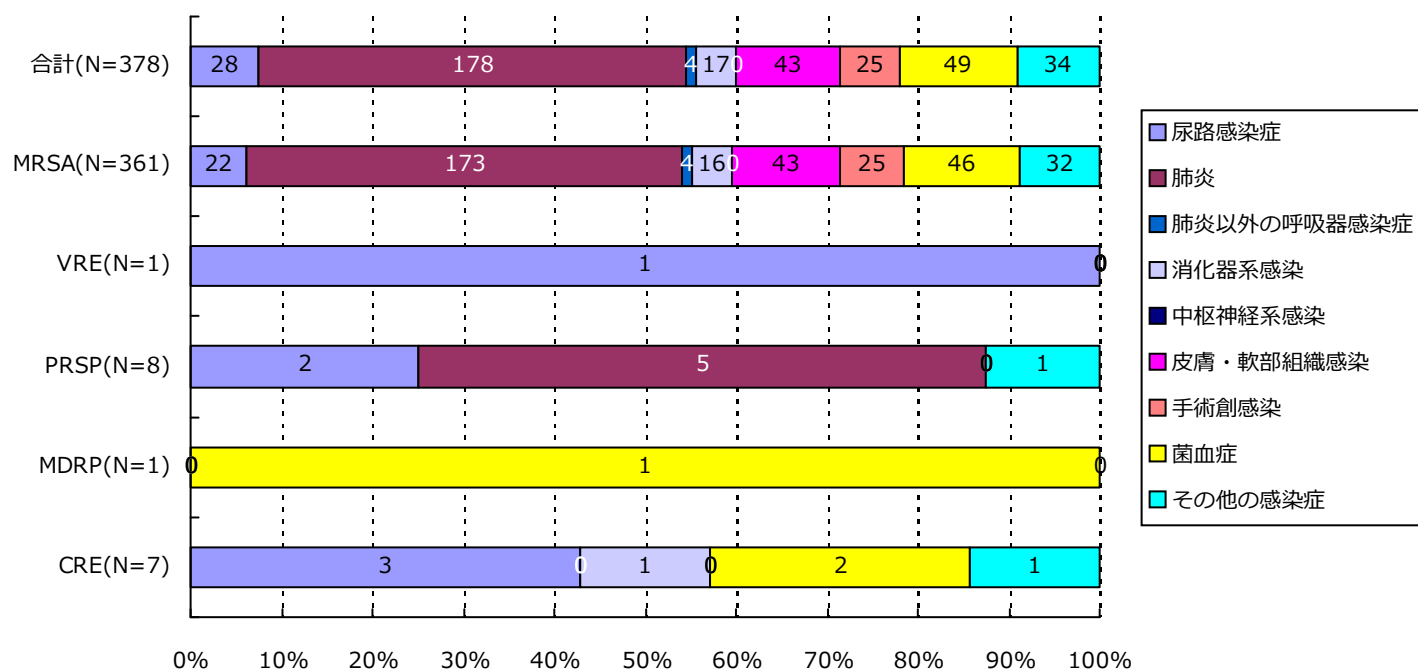
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	187(49.5%)	182(50.4%)	0(-)	0(-)	5(62.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	31(8.2%)	25(6.9%)	0(-)	1(100.0%)	2(25.0%)	0(-)	0(-)	3(42.9%)
便検体	2(0.5%)	2(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	60(15.9%)	57(15.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	2(28.6%)
髄液検体	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	97(25.7%)	95(26.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(28.6%)
合計	378	361	0	1	8	1	0	7

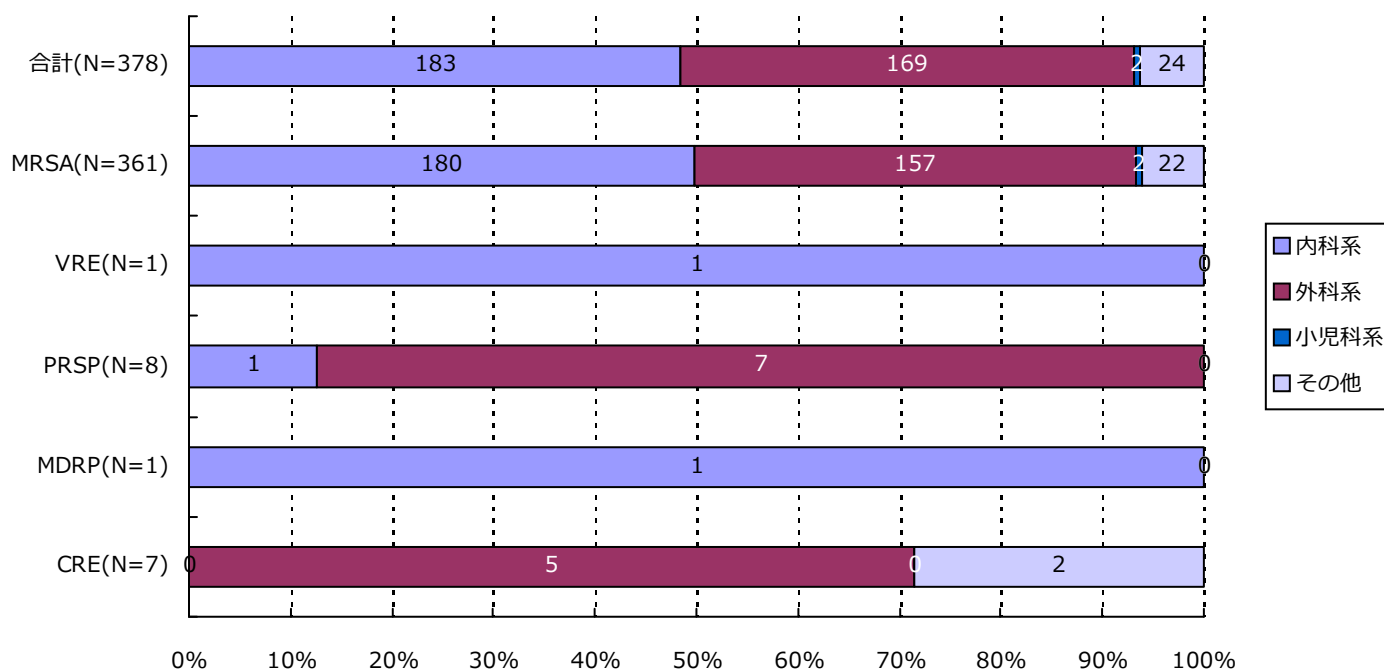
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	28(7.4%)	22(6.1%)	0(-)	1(100.0%)	2(25.0%)	0(-)	0(-)	3(42.9%)
肺炎	178(47.1%)	173(47.9%)	0(-)	0(-)	5(62.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	4(1.1%)	4(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	17(4.5%)	16(4.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	43(11.4%)	43(11.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	25(6.6%)	25(6.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	49(13.0%)	46(12.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	2(28.6%)
その他	34(9.0%)	32(8.9%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)
合計	378	361	0	1	8	1	0	7

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	183(48.4%)	180(49.9%)	0(-)	1(100.0%)	1(12.5%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
外科系	169(44.7%)	157(43.5%)	0(-)	0(-)	7(87.5%)	0(-)	0(-)	5(71.4%)
小児科系	2(0.5%)	2(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	24(6.3%)	22(6.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(28.6%)
合計	378	361	0	1	8	1	0	7

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

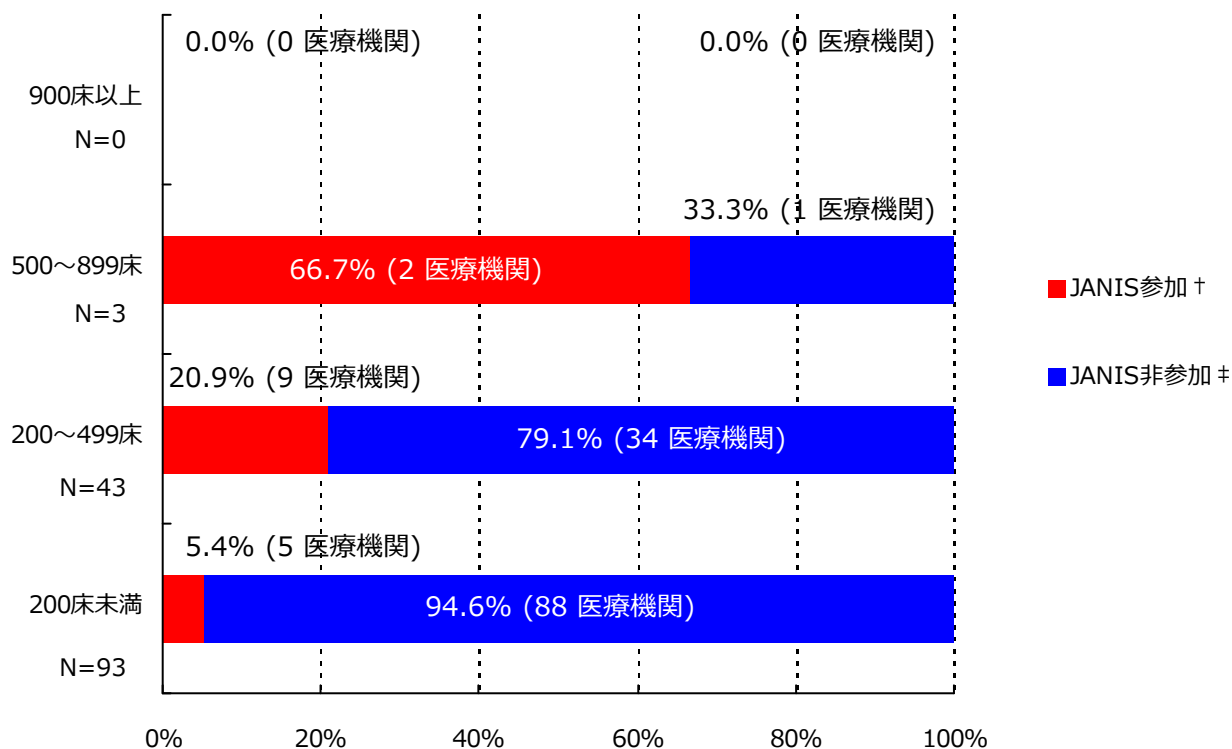
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm *
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(16医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2024年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2023年 都道府県別医療機関数¶) - (2024年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2023年 都道府県別医療機関数¶	2024年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	3	2 (66.7%)
200～499床	43	9 (20.9%)
200床未満	93	5 (5.4%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	139	16 (11.5%)

¶2023年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	16	80,881	4	282	3.49%	0.83 4.37 12.37 -----
2023年	16	83,320	1	272	3.26%	0.73 4.48 23.55 -----
2024年	16	87,093	6	288	3.31%	0.32 4.84 17.24 -----

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	16	80,881	0	2	0.02%	0.00 0.00 0.21 -----
2023年	16	83,320	0	8	0.10%	0.00 0.00 0.66 -----
2024年	16	87,093	0	14	0.16%	0.00 0.00 1.52 -----

(山口県)

公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2023年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2024年	16	87,093	0	2	0.02%	0.00 0.00 0.51

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	16	80,881	0	3	0.04%	0.00 0.00 0.63
2023年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2024年	16	87,093	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.05

(山口県)

公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

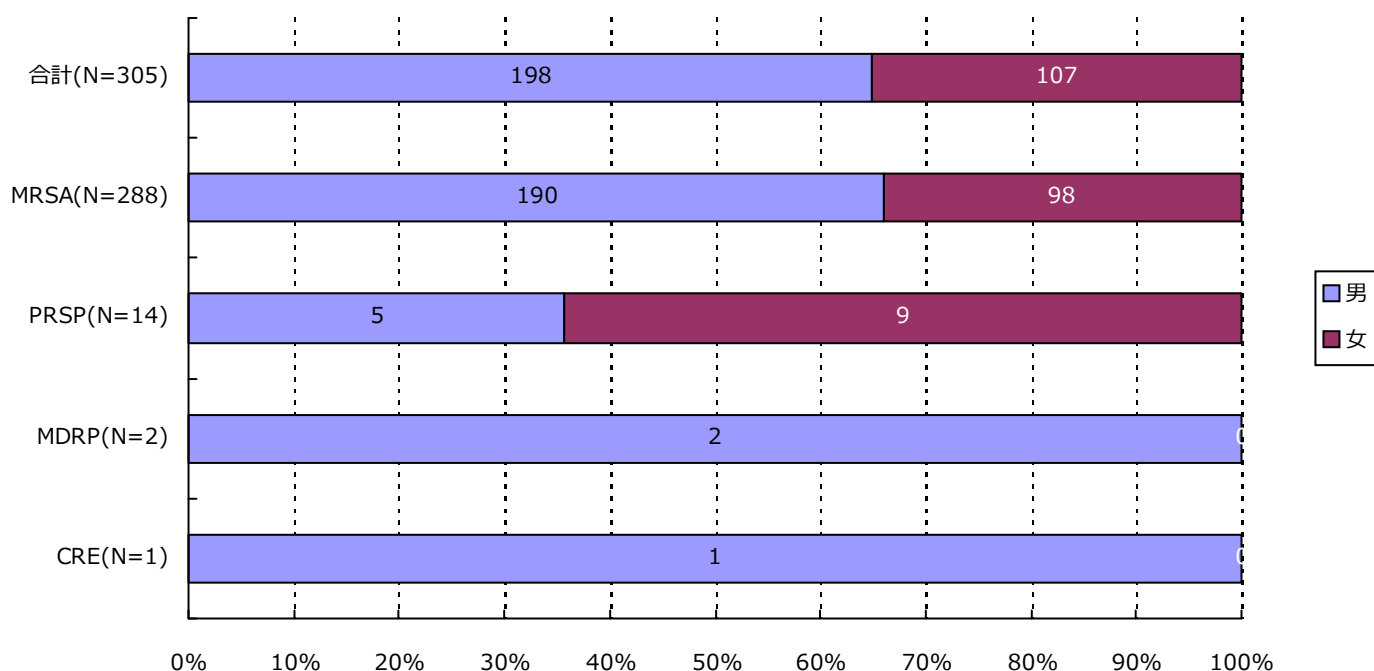
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

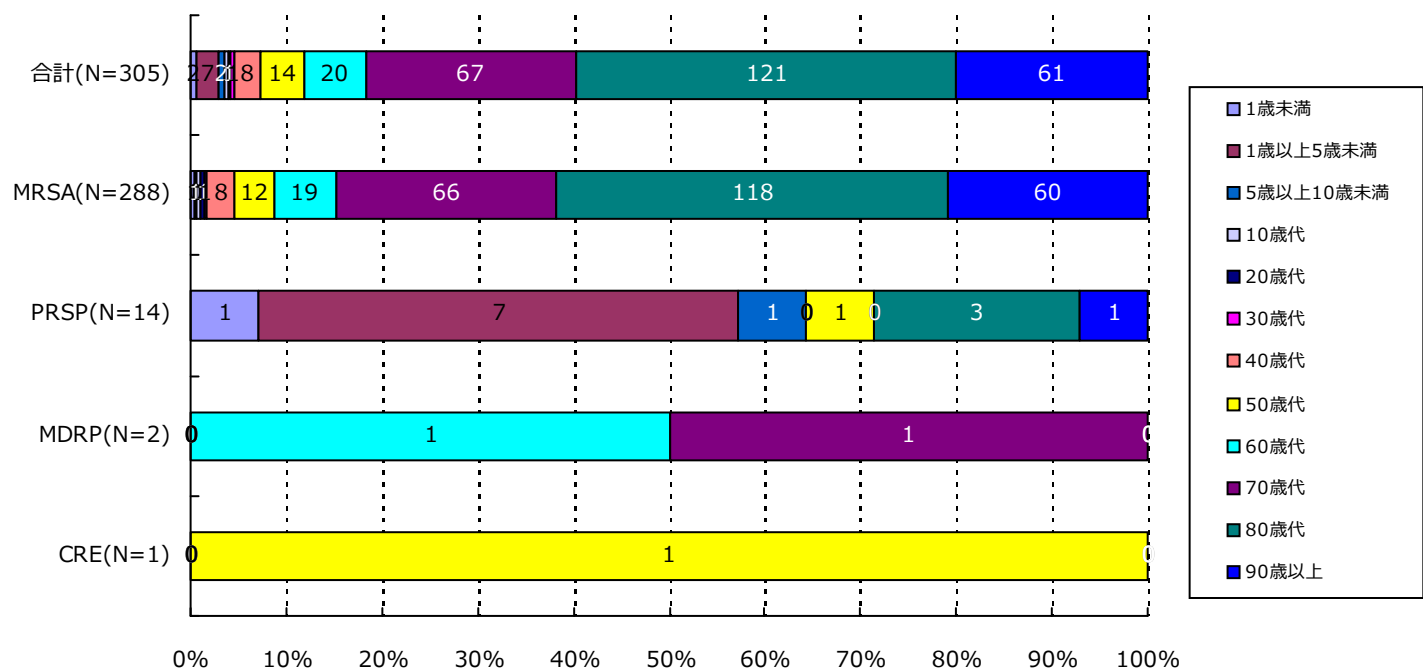
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	198(64.9%)	190(66.0%)	0(-)	0(-)	5(35.7%)	2(100.0%)	0(-)	1(100.0%)
女	107(35.1%)	98(34.0%)	0(-)	0(-)	9(64.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	305	288	0	0	14	2	0	1

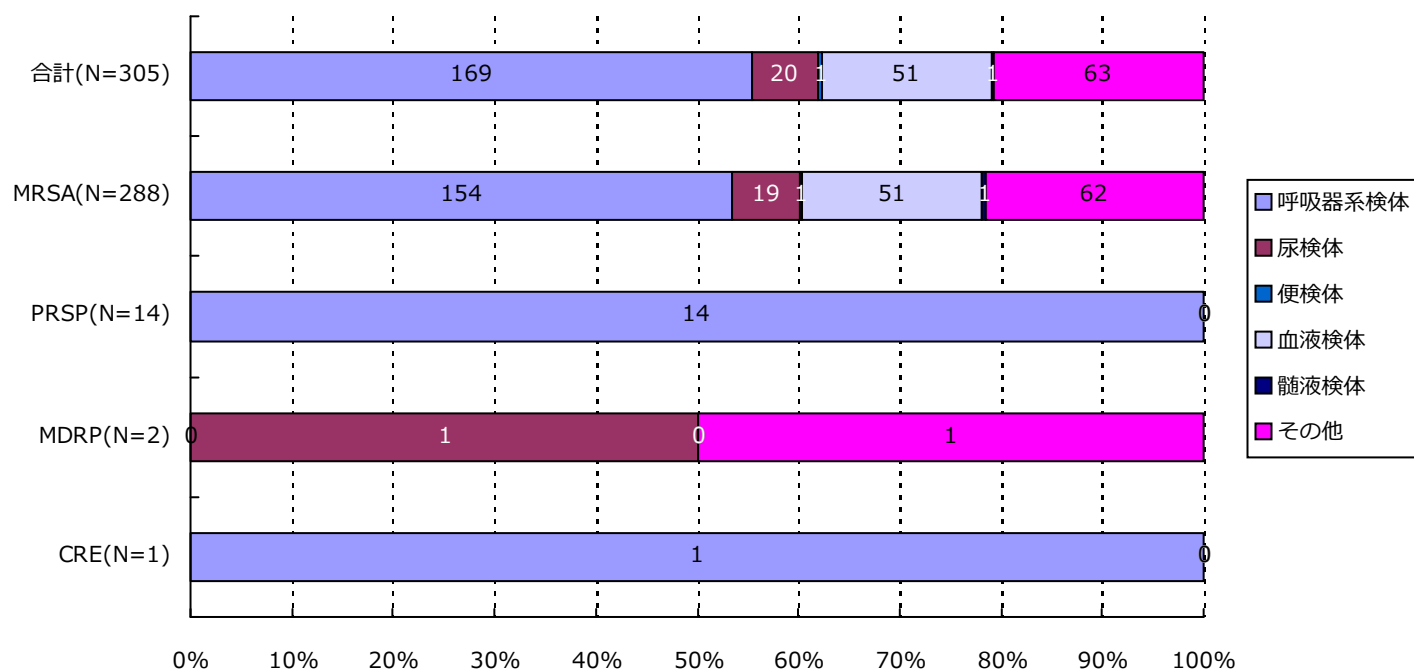


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	2(0.7%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	1(7.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	7(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	7(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	2(0.7%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	1(7.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	8(2.6%)	8(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	14(4.6%)	12(4.2%)	0(-)	0(-)	1(7.1%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
60歳代	20(6.6%)	19(6.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)
70歳代	67(22.0%)	66(22.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)
80歳代	121(39.7%)	118(41.0%)	0(-)	0(-)	3(21.4%)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	61(20.0%)	60(20.8%)	0(-)	0(-)	1(7.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	305	288	0	0	14	2	0	1

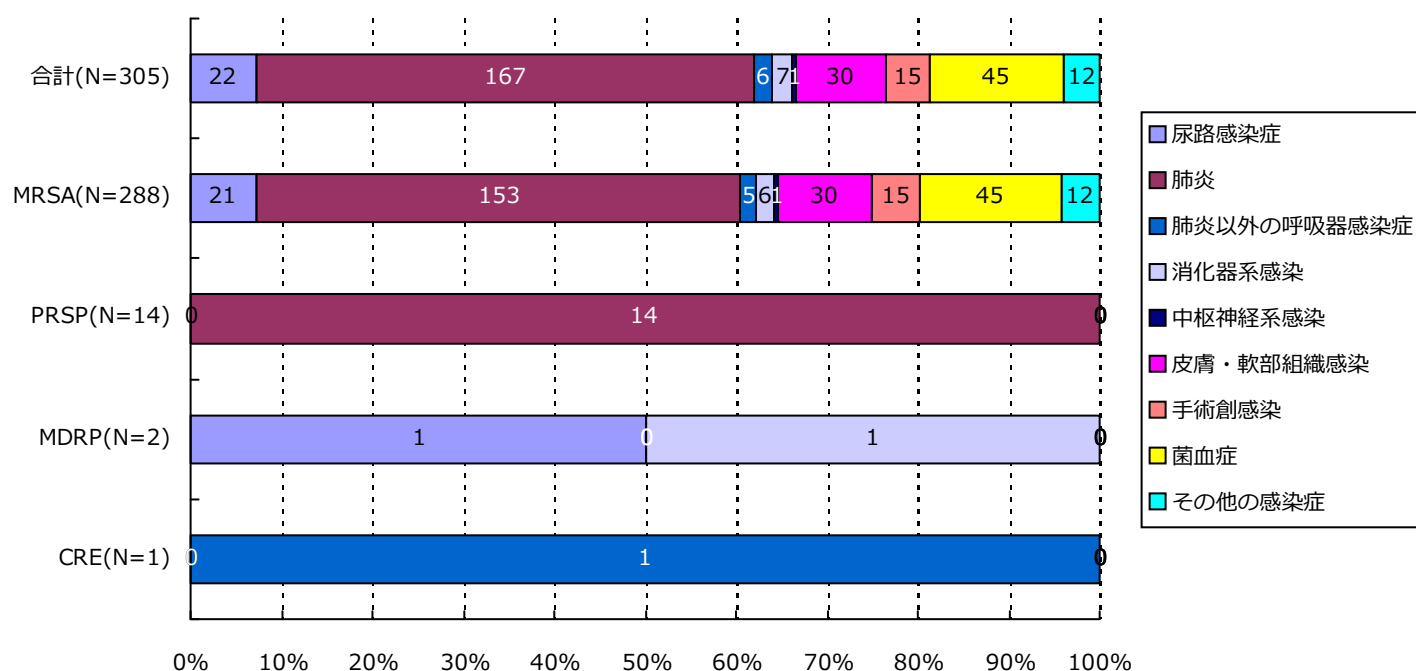
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	169(55.4%)	154(53.5%)	0(-)	0(-)	14(100.0%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
尿検体	20(6.6%)	19(6.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)
便検体	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	51(16.7%)	51(17.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	63(20.7%)	62(21.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)
合計	305	288	0	0	14	2	0	1

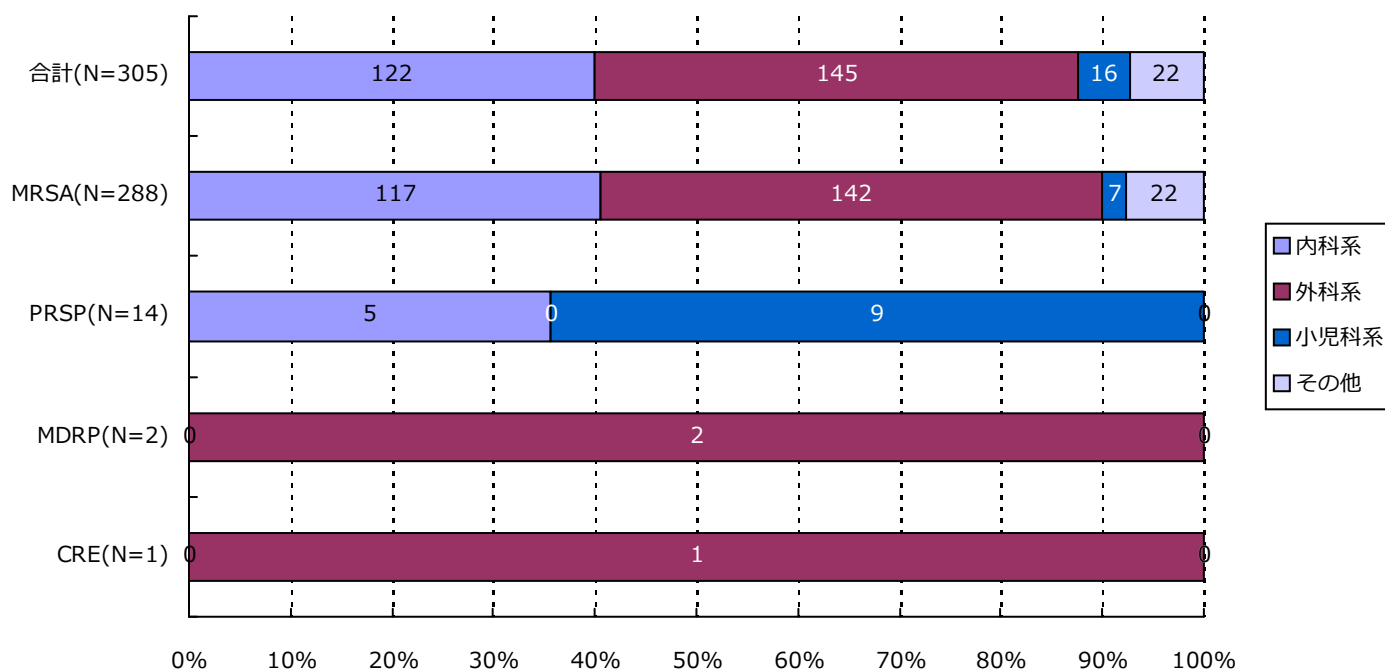
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	22(7.2%)	21(7.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)
肺炎	167(54.8%)	153(53.1%)	0(-)	0(-)	14(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	6(2.0%)	5(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
消化器系	7(2.3%)	6(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)
中枢神経系	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	30(9.8%)	30(10.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	15(4.9%)	15(5.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	45(14.8%)	45(15.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	12(3.9%)	12(4.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	305	288	0	0	14	2	0	1

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	122(40.0%)	117(40.6%)	0(-)	0(-)	5(35.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	145(47.5%)	142(49.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	0(-)	1(100.0%)
小児科系	16(5.2%)	7(2.4%)	0(-)	0(-)	9(64.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	22(7.2%)	22(7.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	305	288	0	0	14	2	0	1

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

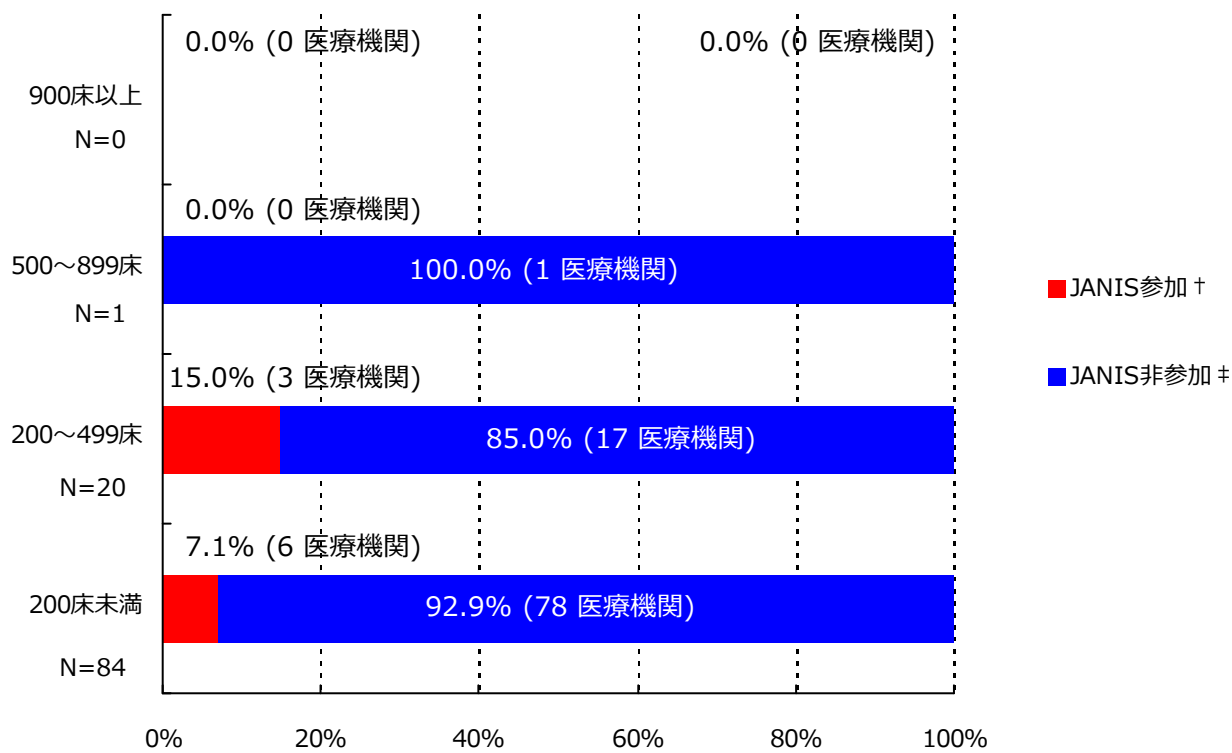
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm *
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(9医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す
† JANIS参加 = 2024年1月～12月 集計対象医療機関数
‡ JANIS非参加 = (2023年 都道府県別医療機関数¶) - (2024年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2023年 都道府県別医療機関数¶	2024年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	1	0 (0%)
200～499床	20	3 (15%)
200床未満	84	6 (7.1%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	105	9 (8.6%)

¶2023年医療施設（動態）調査を参照した。

(徳島県)

公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2022年	8	14,762	0	53	3.59%	0.00 2.62 12.69
2023年	9	18,276	1	72	3.94%	0.00 3.35 12.58
2024年	9	19,021	2	44	2.31%	0.00 0.72 11.56

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2022年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2023年	9	18,276	0	1	0.05%	0.00 0.00 1.26
2024年	9	19,021	0	1	0.05%	0.00 0.00 1.16

(徳島県)

公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

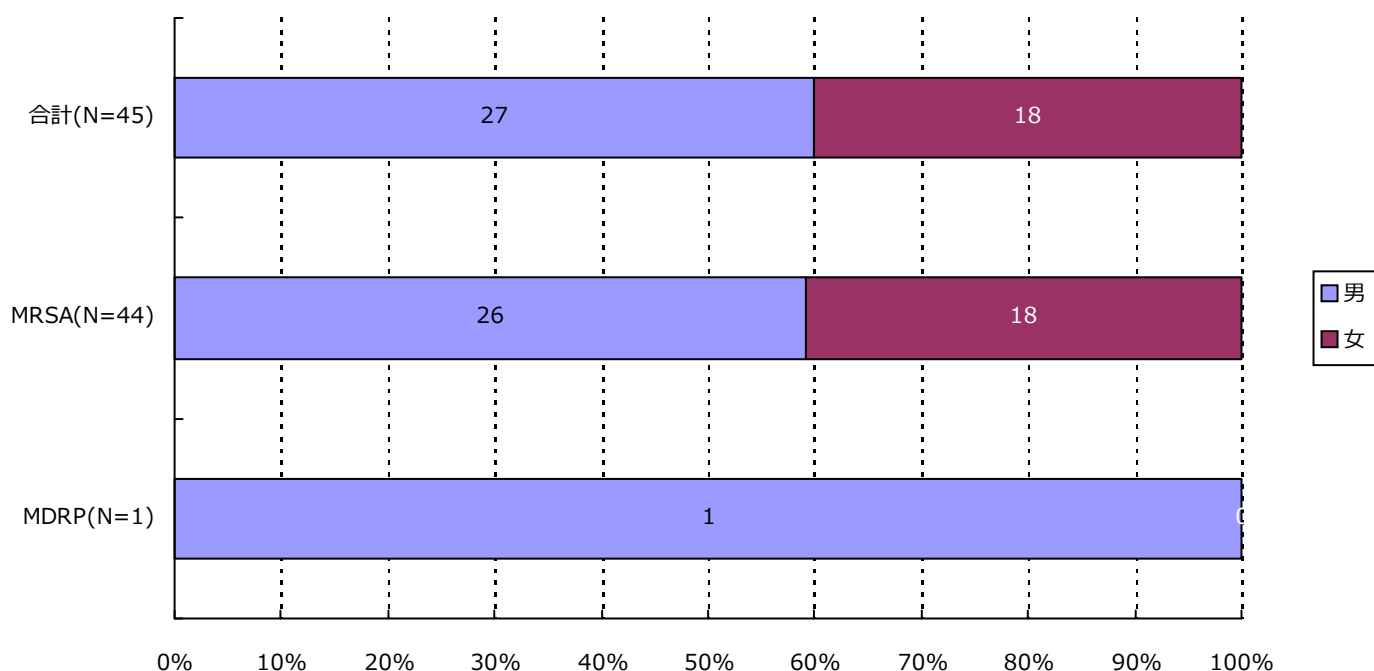
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

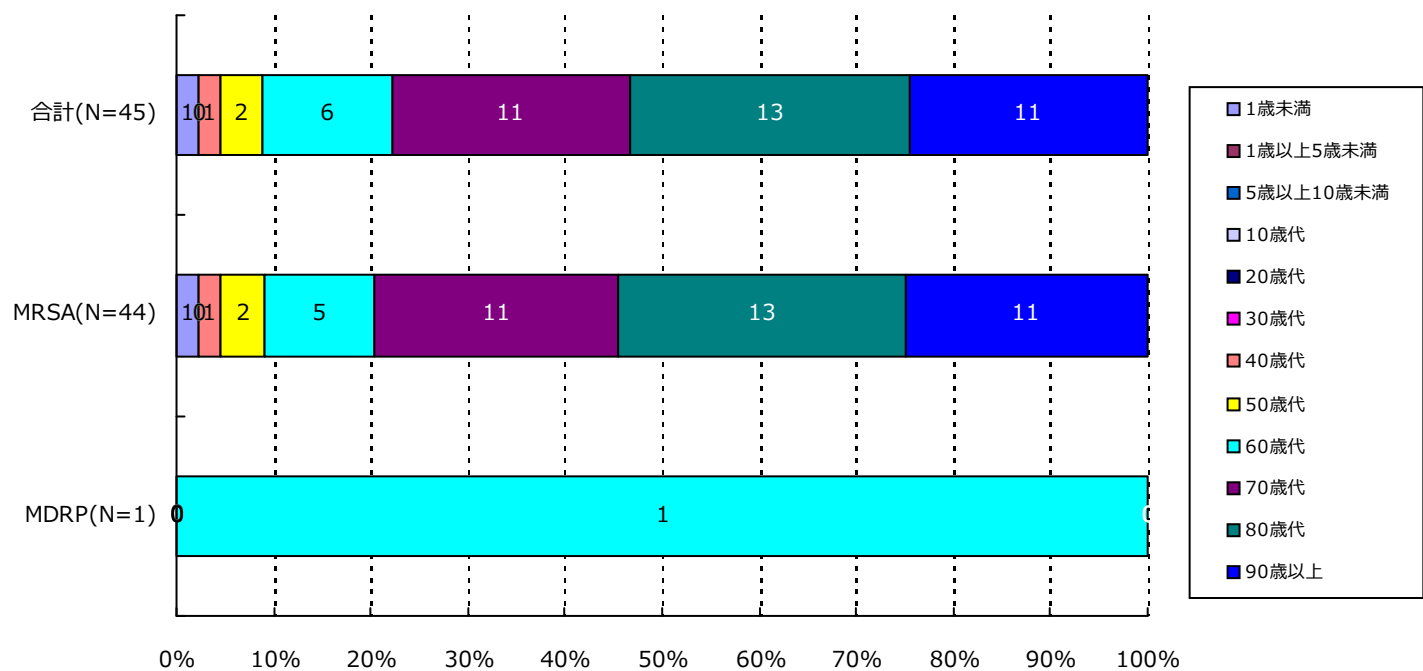
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	27(60.0%)	26(59.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
女	18(40.0%)	18(40.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	45	44	0	0	0	1	0	0

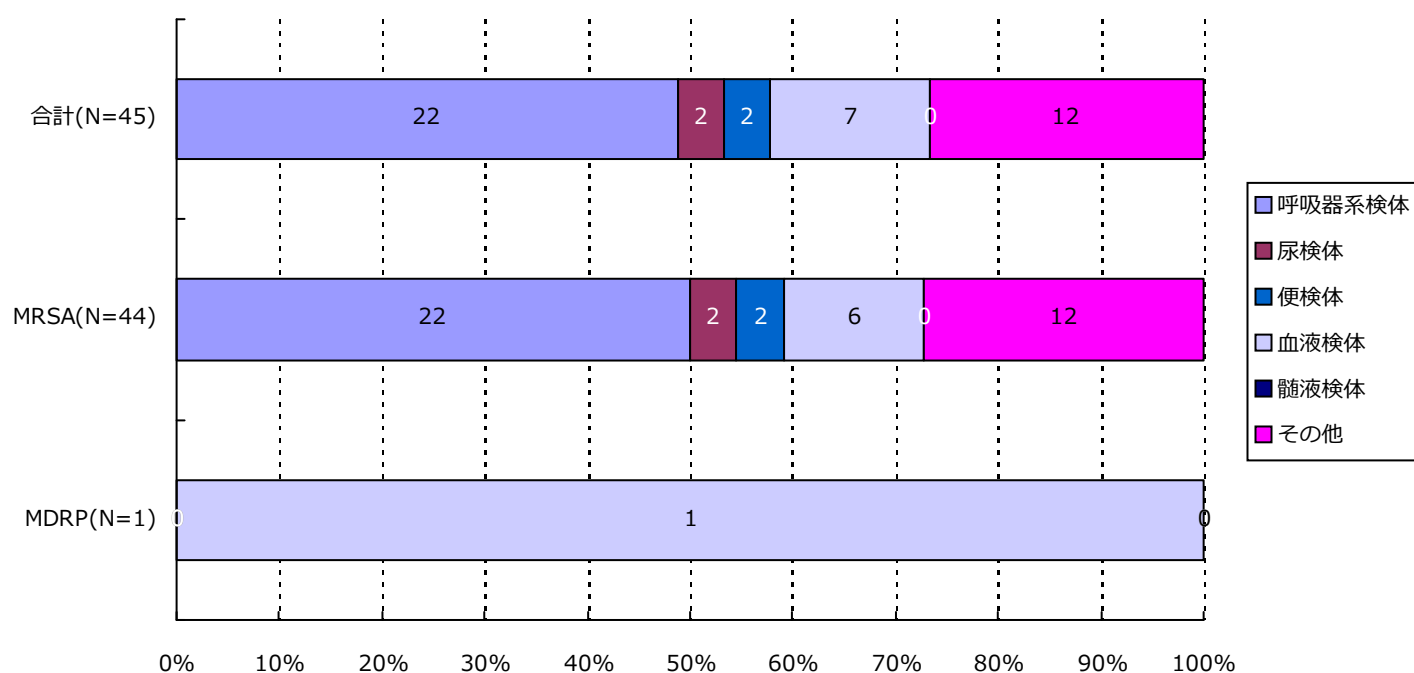


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	1(2.2%)	1(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	1(2.2%)	1(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	2(4.4%)	2(4.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	6(13.3%)	5(11.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
70歳代	11(24.4%)	11(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
80歳代	13(28.9%)	13(29.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	11(24.4%)	11(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	45	44	0	0	0	1	0	0

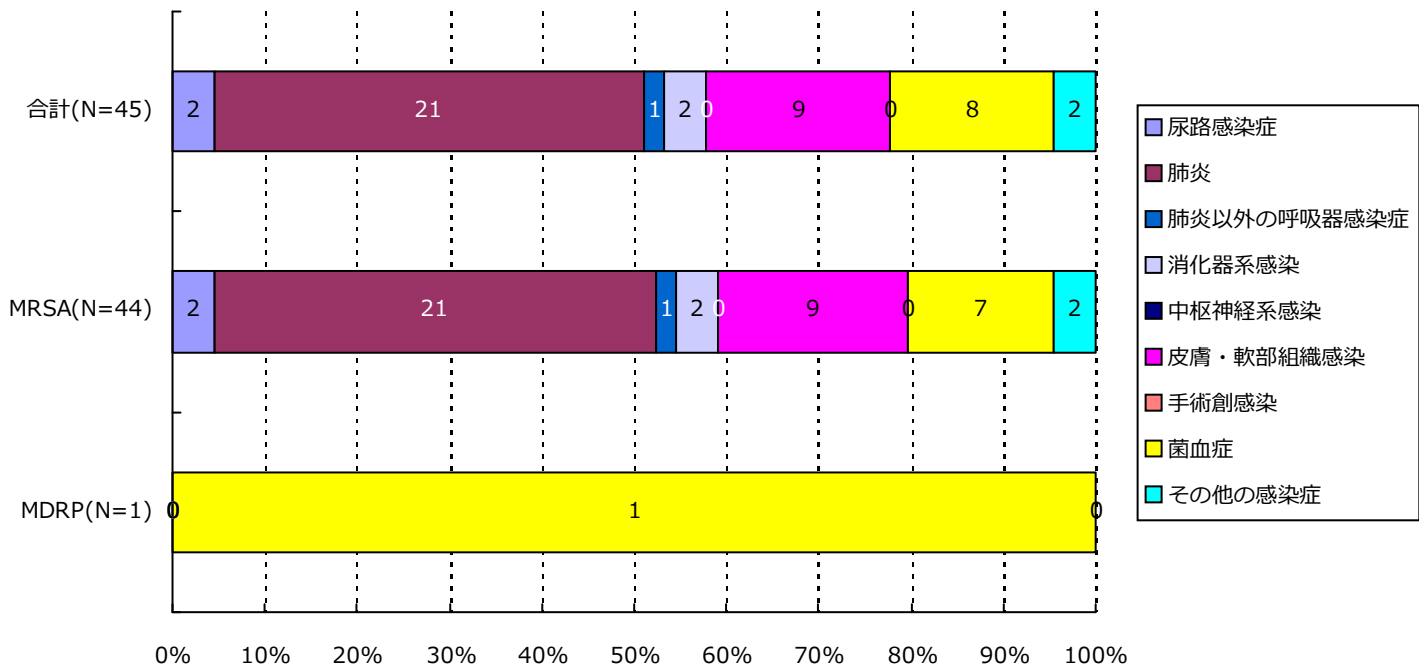
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	22(48.9%)	22(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	2(4.4%)	2(4.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	2(4.4%)	2(4.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	7(15.6%)	6(13.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	12(26.7%)	12(27.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	45	44	0	0	0	1	0	0

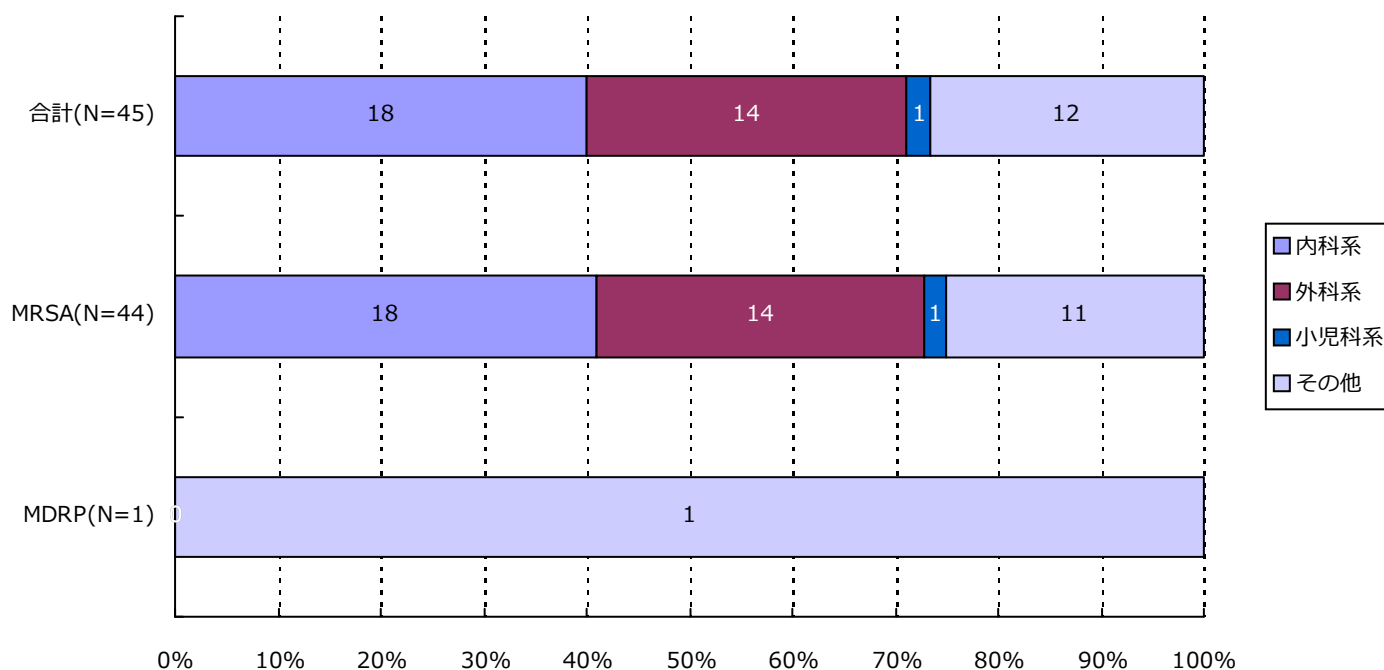
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	2(4.4%)	2(4.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	21(46.7%)	21(47.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	1(2.2%)	1(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	2(4.4%)	2(4.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	9(20.0%)	9(20.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	8(17.8%)	7(15.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
その他	2(4.4%)	2(4.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	45	44	0	0	0	1	0	0

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	18(40.0%)	18(40.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	14(31.1%)	14(31.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
小児科系	1(2.2%)	1(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	12(26.7%)	11(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
合計	45	44	0	0	0	1	0	0

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆膵外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	その他		老人内科
心療内科		耳鼻咽喉科	
性病科		気管食道科	
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
		リハビリテーション科	小児科系
	麻酔科	新生児科	
	その他	新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm *
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

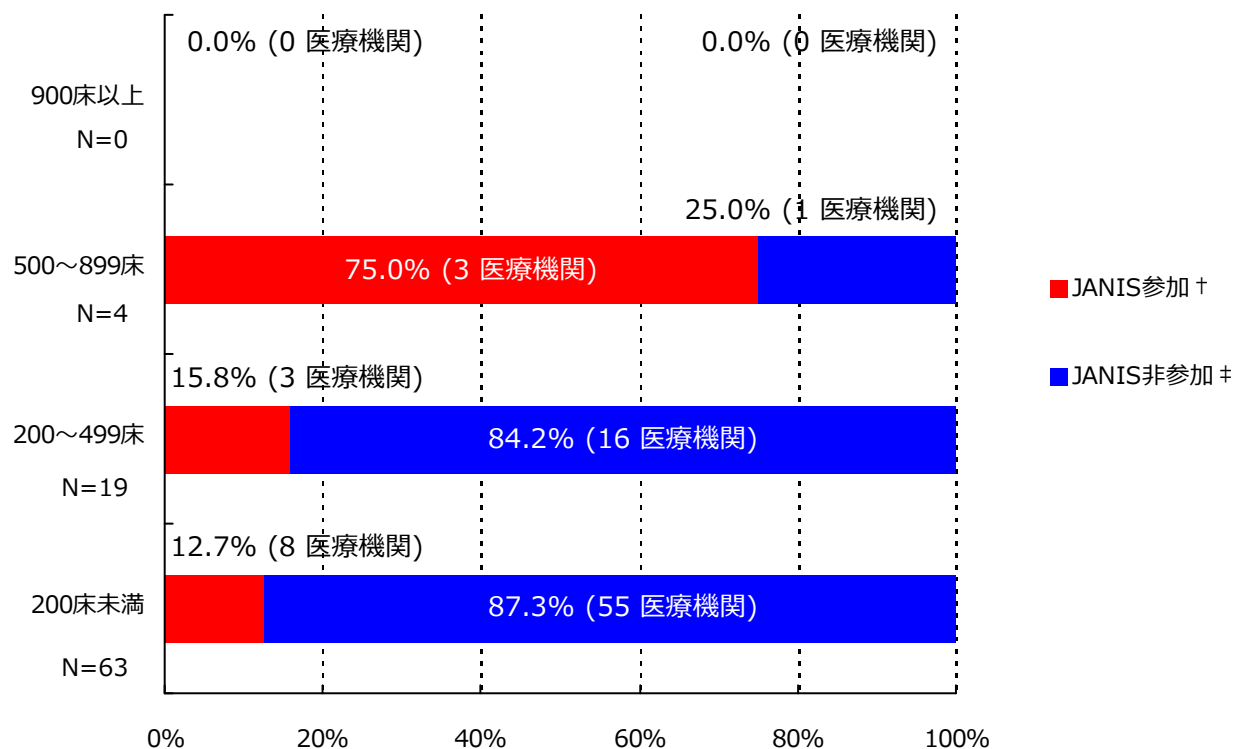
* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査の基準に準拠

(香川県)
公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(14医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2024年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2023年 都道府県別医療機関数¶) - (2024年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2023年 都道府県別医療機関数¶	2024年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	4	3 (75%)
200～499床	19	3 (15.8%)
200床未満	63	8 (12.7%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	86	14 (16.3%)

¶2023年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	12	69,187	0	121	1.75%	0.59 1.87 44.44
2023年	13	69,502	0	100	1.44%	0.37 1.25 8.51
2024年	14	71,547	0	114	1.59%	0.00 1.55 3.97

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	12	69,187	0	2	0.03%	0.00 0.00 0.22
2023年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2024年	14	71,547	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.08

(香川県)

公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

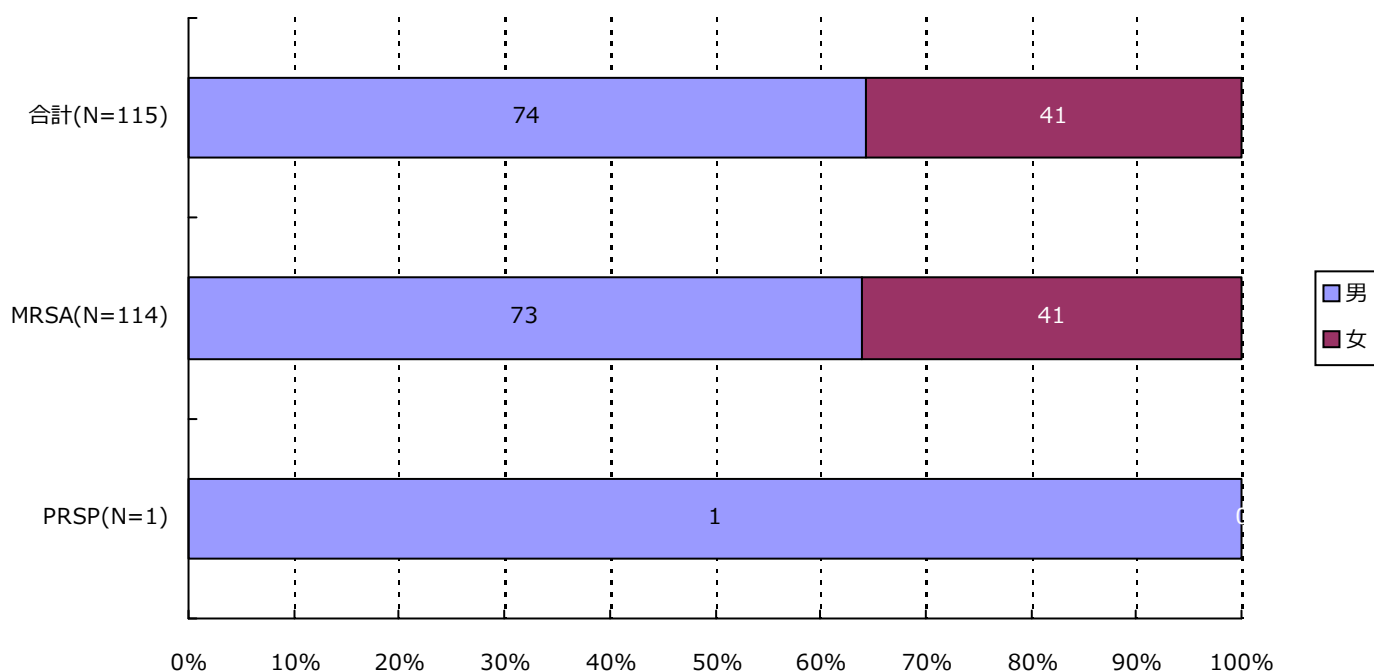
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

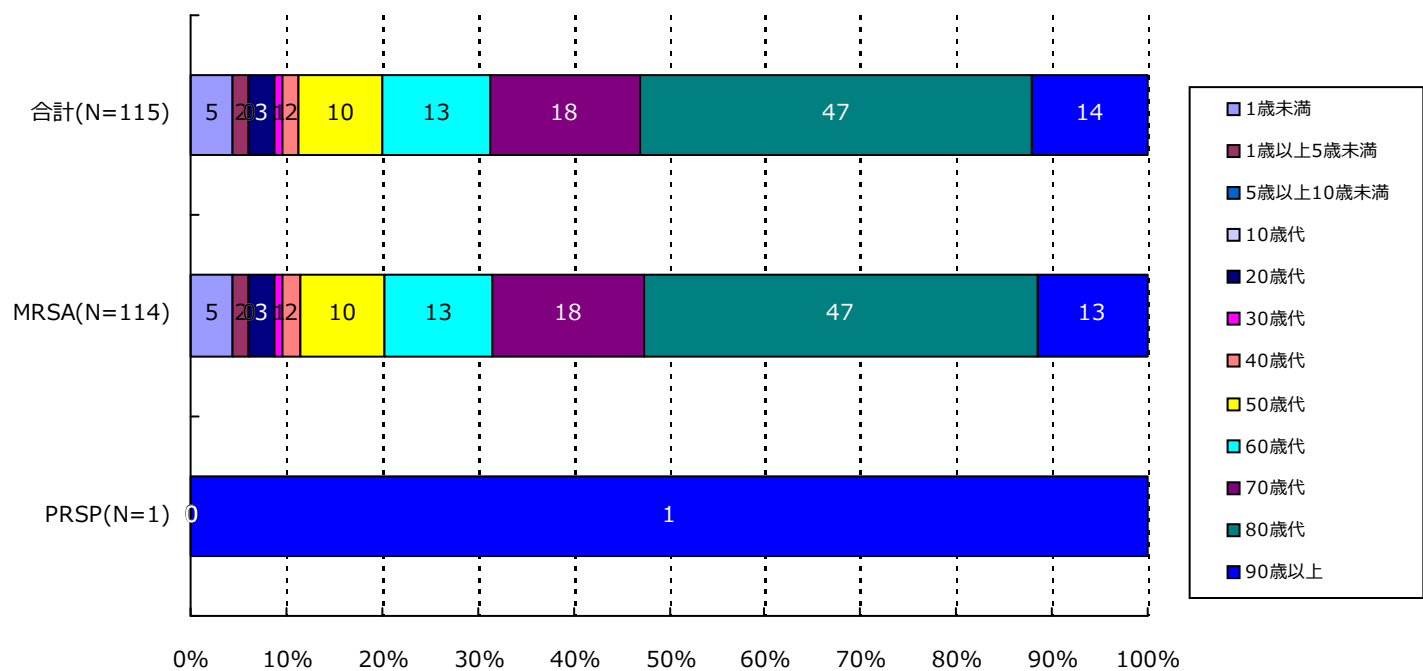
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	74(64.3%)	73(64.0%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
女	41(35.7%)	41(36.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	115	114	0	0	1	0	0	0

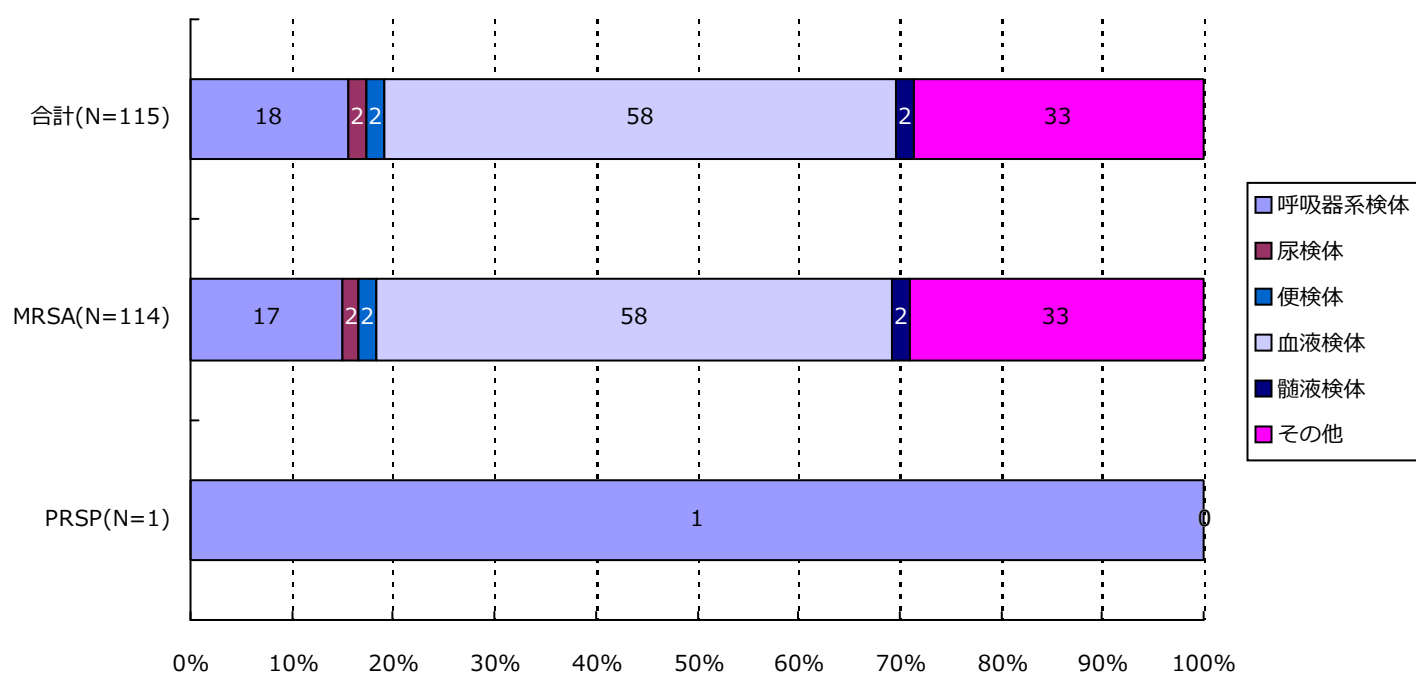


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	5(4.3%)	5(4.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	2(1.7%)	2(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	3(2.6%)	3(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	1(0.9%)	1(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	2(1.7%)	2(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	10(8.7%)	10(8.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	13(11.3%)	13(11.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	18(15.7%)	18(15.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
80歳代	47(40.9%)	47(41.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	14(12.2%)	13(11.4%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	115	114	0	0	1	0	0	0

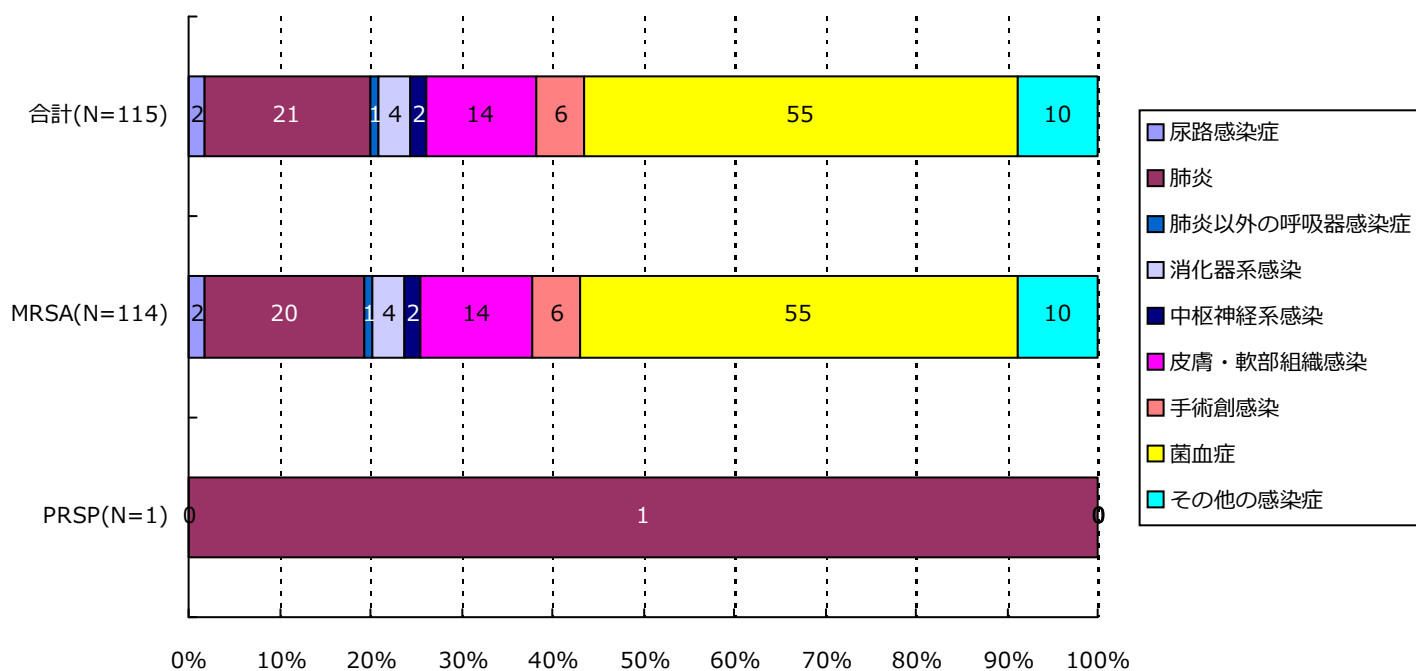
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	18(15.7%)	17(14.9%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	2(1.7%)	2(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	2(1.7%)	2(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	58(50.4%)	58(50.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	2(1.7%)	2(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	33(28.7%)	33(28.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	115	114	0	0	1	0	0	0

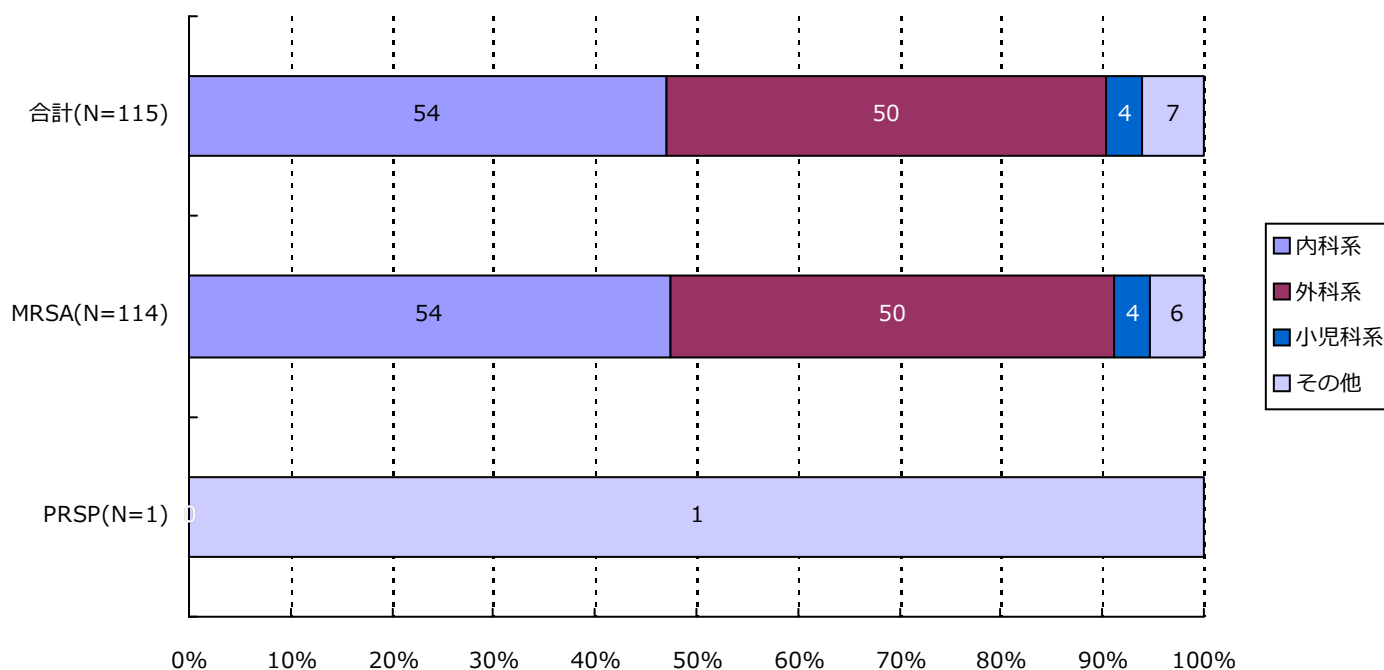
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	2(1.7%)	2(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	21(18.3%)	20(17.5%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	1(0.9%)	1(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	4(3.5%)	4(3.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	2(1.7%)	2(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	14(12.2%)	14(12.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	6(5.2%)	6(5.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	55(47.8%)	55(48.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	10(8.7%)	10(8.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	115	114	0	0	1	0	0	0

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	54(47.0%)	54(47.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	50(43.5%)	50(43.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
小児科系	4(3.5%)	4(3.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	7(6.1%)	6(5.3%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	115	114	0	0	1	0	0	0

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

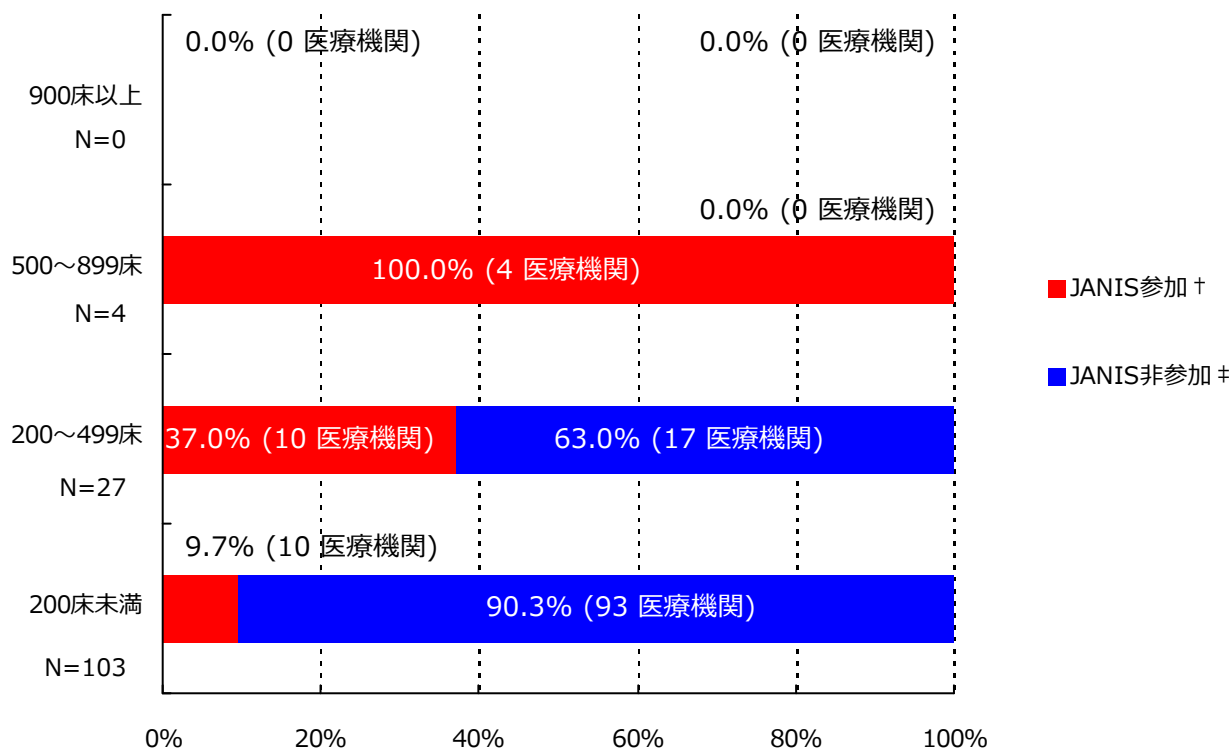
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm *
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(24医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2024年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2023年 都道府県別医療機関数¶) - (2024年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2023年 都道府県別医療機関数¶	2024年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	4	4 (100%)
200～499床	27	10 (37%)
200床未満	103	10 (9.7%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	134	24 (17.9%)

¶2023年医療施設（動態）調査を参照した。

(愛媛県)

公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	24	118,861	5	377	3.17%	0.00 2.35 23.76 H -----
2023年	24	121,816	8	352	2.89%	0.85 3.09 12.05 ----- -----
2024年	24	123,387	9	345	2.80%	0.65 2.62 9.19 ----- -----

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2023年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2024年	24	123,387	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.05 -----



2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2022年	24	118,861	0	5	0.04%	0.00 0.00 0.29
2023年	24	121,816	0	4	0.03%	0.00 0.00 0.35
2024年	24	123,387	0	4	0.03%	0.00 0.00 0.30

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2022年	24	118,861	0	3	0.03%	0.00 0.00 0.15
2023年	24	121,816	0	4	0.03%	0.00 0.00 0.24
2024年	24	123,387	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.22



2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2022年	24	118,861	0	17	0.14%	0.00 0.00 1.31
2023年	24	121,816	0	17	0.14%	0.00 0.00 1.77
2024年	24	123,387	0	11	0.09%	0.00 0.00 1.11

(愛媛県)

公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

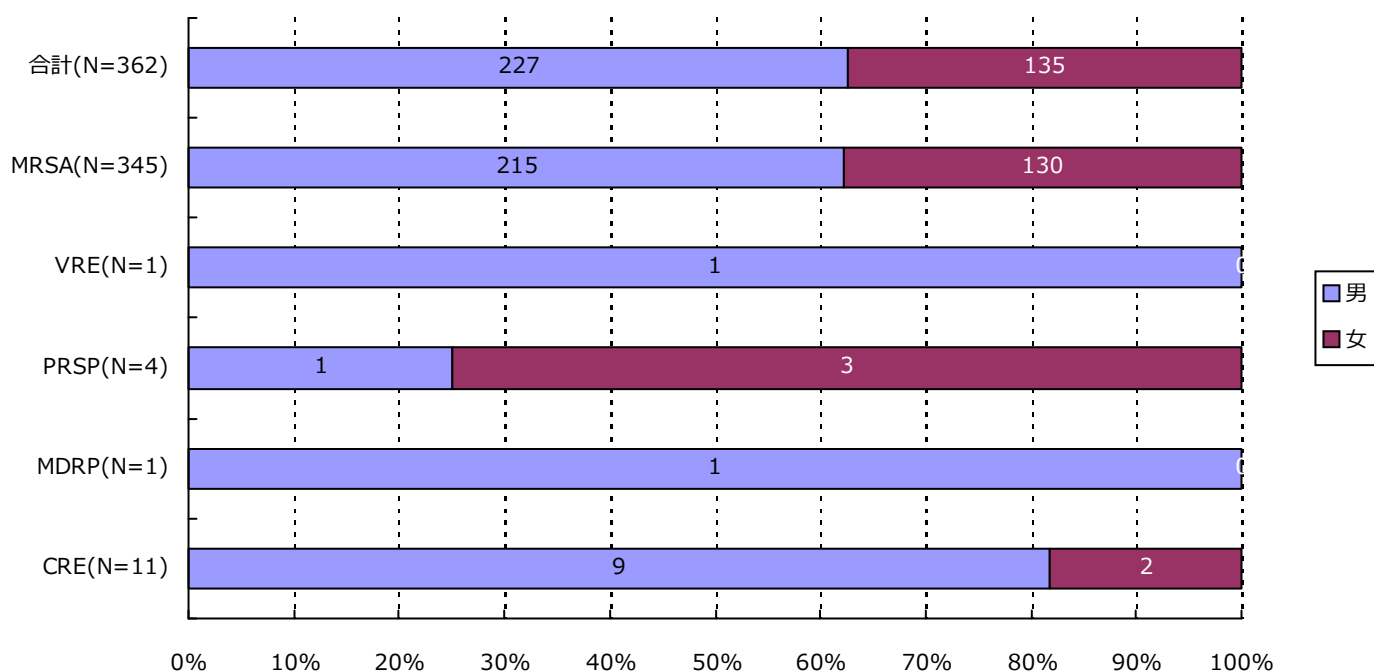
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

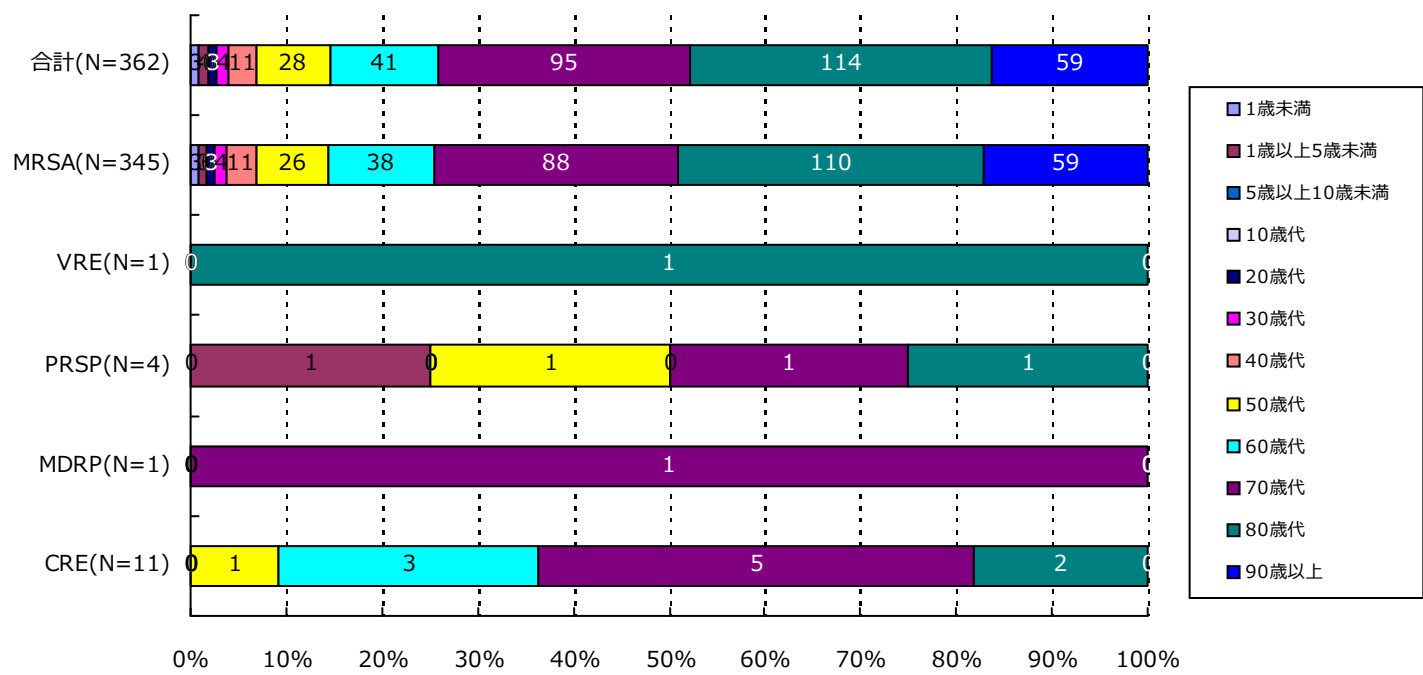
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	227 (62.7%)	215 (62.3%)	0 (-)	1 (100.0%)	1 (25.0%)	1 (100.0%)	0 (-)	9 (81.8%)
女	135 (37.3%)	130 (37.7%)	0 (-)	0 (-)	3 (75.0%)	0 (-)	0 (-)	2 (18.2%)
合計	362	345	0	1	4	1	0	11

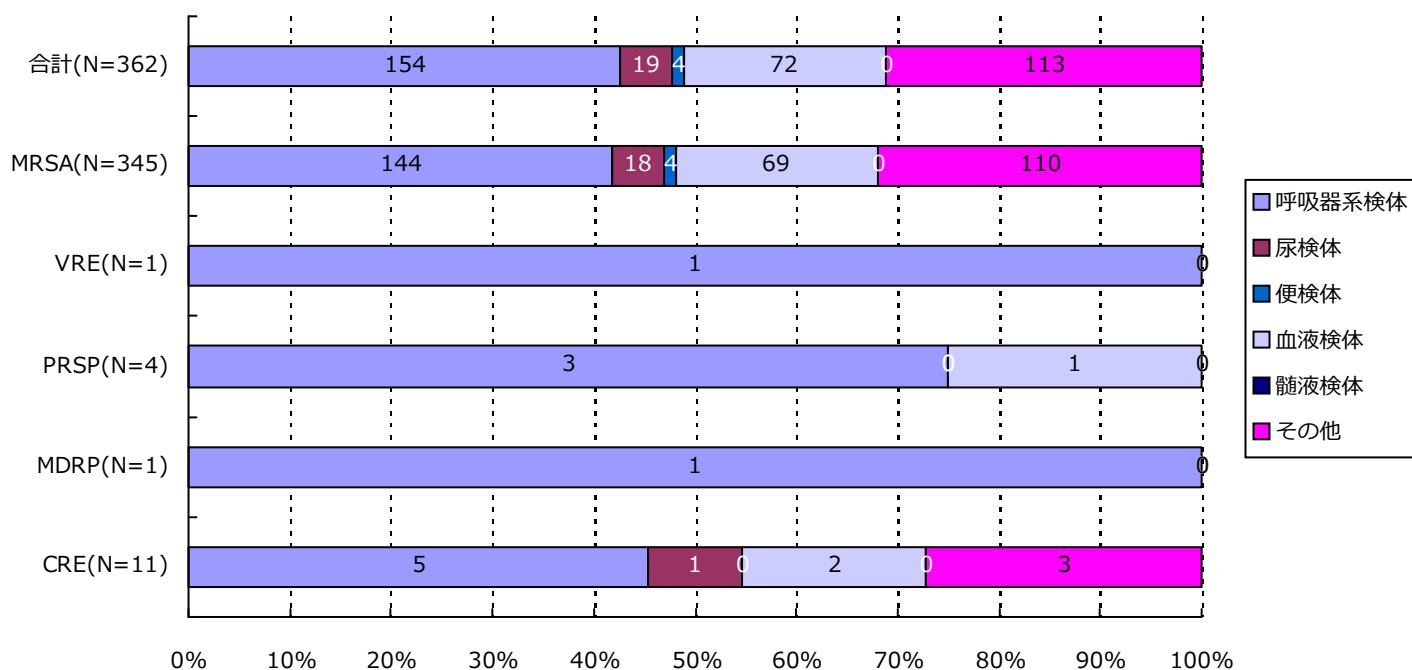


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	3(0.8%)	3(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	4(1.1%)	3(0.9%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	3(0.8%)	3(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	4(1.1%)	4(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	11(3.0%)	11(3.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	28(7.7%)	26(7.5%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	1(9.1%)
60歳代	41(11.3%)	38(11.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(27.3%)
70歳代	95(26.2%)	88(25.5%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	1(100.0%)	0(-)	5(45.5%)
80歳代	114(31.5%)	110(31.9%)	0(-)	1(100.0%)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	2(18.2%)
90歳以上	59(16.3%)	59(17.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	362	345	0	1	4	1	0	11

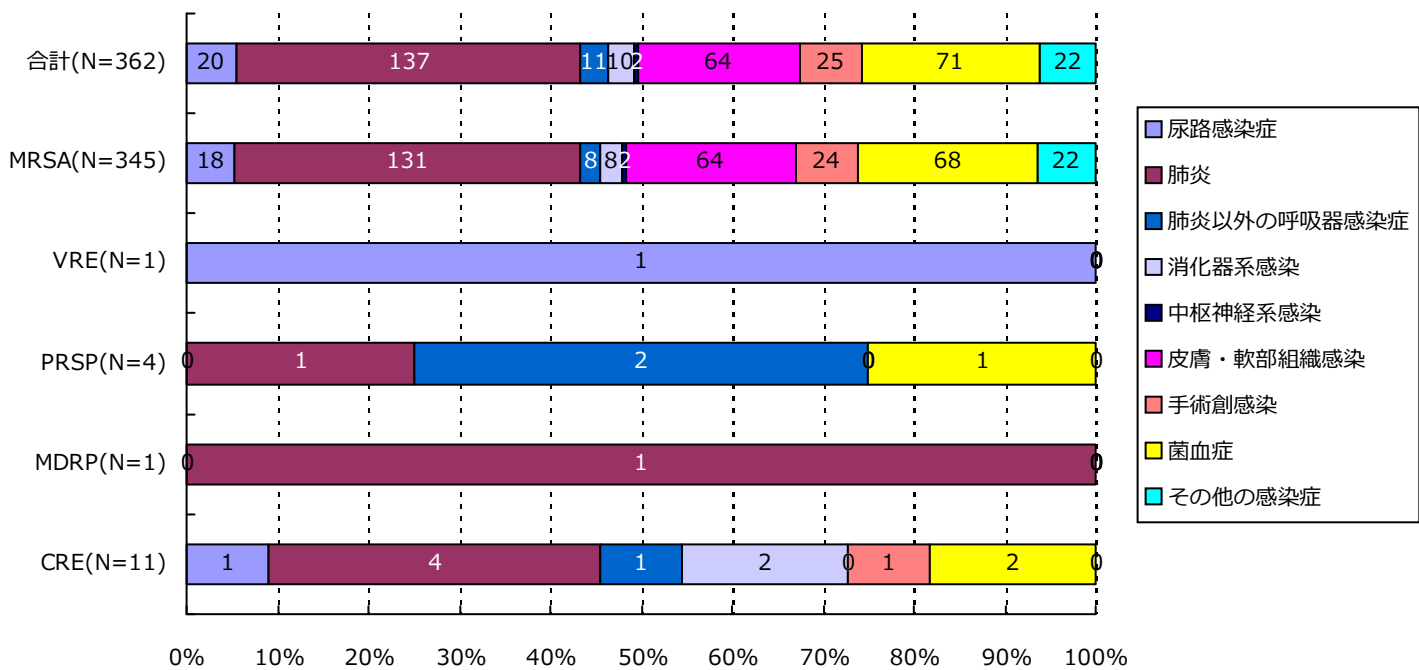
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	154(42.5%)	144(41.7%)	0(-)	1(100.0%)	3(75.0%)	1(100.0%)	0(-)	5(45.5%)
尿検体	19(5.2%)	18(5.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(9.1%)
便検体	4(1.1%)	4(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	72(19.9%)	69(20.0%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	2(18.2%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	113(31.2%)	110(31.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(27.3%)
合計	362	345	0	1	4	1	0	11

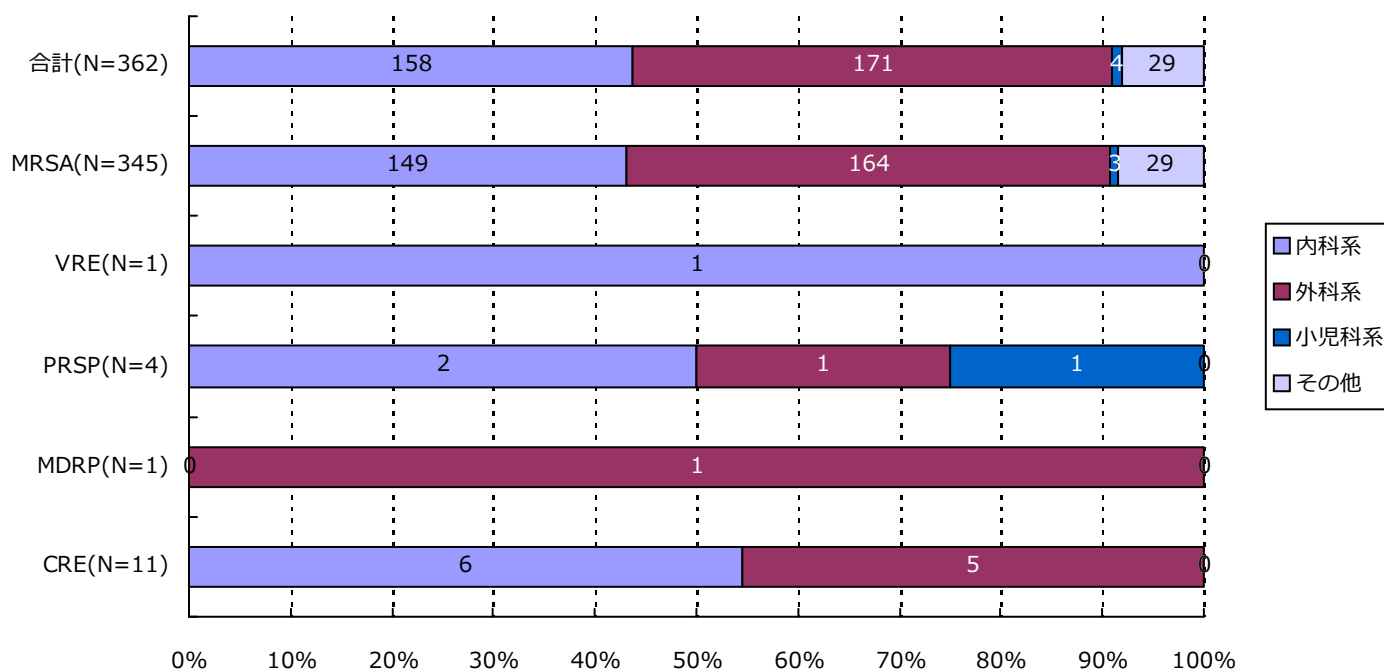
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	20(5.5%)	18(5.2%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(9.1%)
肺炎	137(37.8%)	131(38.0%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	1(100.0%)	0(-)	4(36.4%)
肺炎以外	11(3.0%)	8(2.3%)	0(-)	0(-)	2(50.0%)	0(-)	0(-)	1(9.1%)
消化器系	10(2.8%)	8(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(18.2%)
中枢神経系	2(0.6%)	2(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	64(17.7%)	64(18.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	25(6.9%)	24(7.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(9.1%)
菌血症	71(19.6%)	68(19.7%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	2(18.2%)
その他	22(6.1%)	22(6.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	362	345	0	1	4	1	0	11

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	158(43.6%)	149(43.2%)	0(-)	1(100.0%)	2(50.0%)	0(-)	0(-)	6(54.5%)
外科系	171(47.2%)	164(47.5%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	1(100.0%)	0(-)	5(45.5%)
小児科系	4(1.1%)	3(0.9%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	29(8.0%)	29(8.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	362	345	0	1	4	1	0	11

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

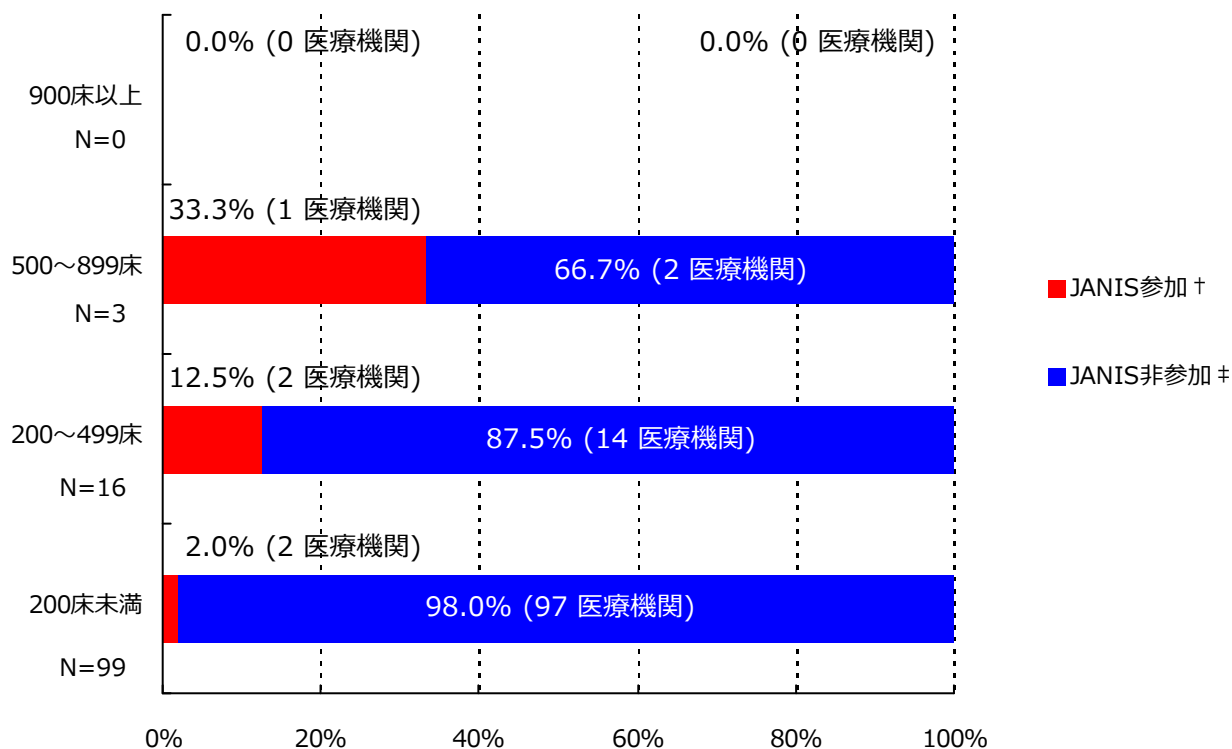
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm *
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL†かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(5医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2024年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2023年 都道府県別医療機関数¶) - (2024年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2023年 都道府県別医療機関数¶	2024年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	3	1 (33.3%)
200～499床	16	2 (12.5%)
200床未満	99	2 (2%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	118	5 (4.2%)

¶2023年医療施設（動態）調査を参照した。

(高知県)

公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	5	26,386	1	98	3.71%	1.00 3.65 7.89 -----
2023年	5	27,989	0	129	4.61%	1.51 6.68 10.79 -----
2024年	5	29,101	2	132	4.54%	2.36 5.28 8.97 -----

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2022年	5	26,386	0	3	0.11%	0.00 0.00 0.28 -----
2023年	5	27,989	0	1	0.04%	0.00 0.00 0.09 -----
2024年	5	29,101	0	1	0.03%	0.00 0.00 0.09 -----

(高知県)

公開情報 2024年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

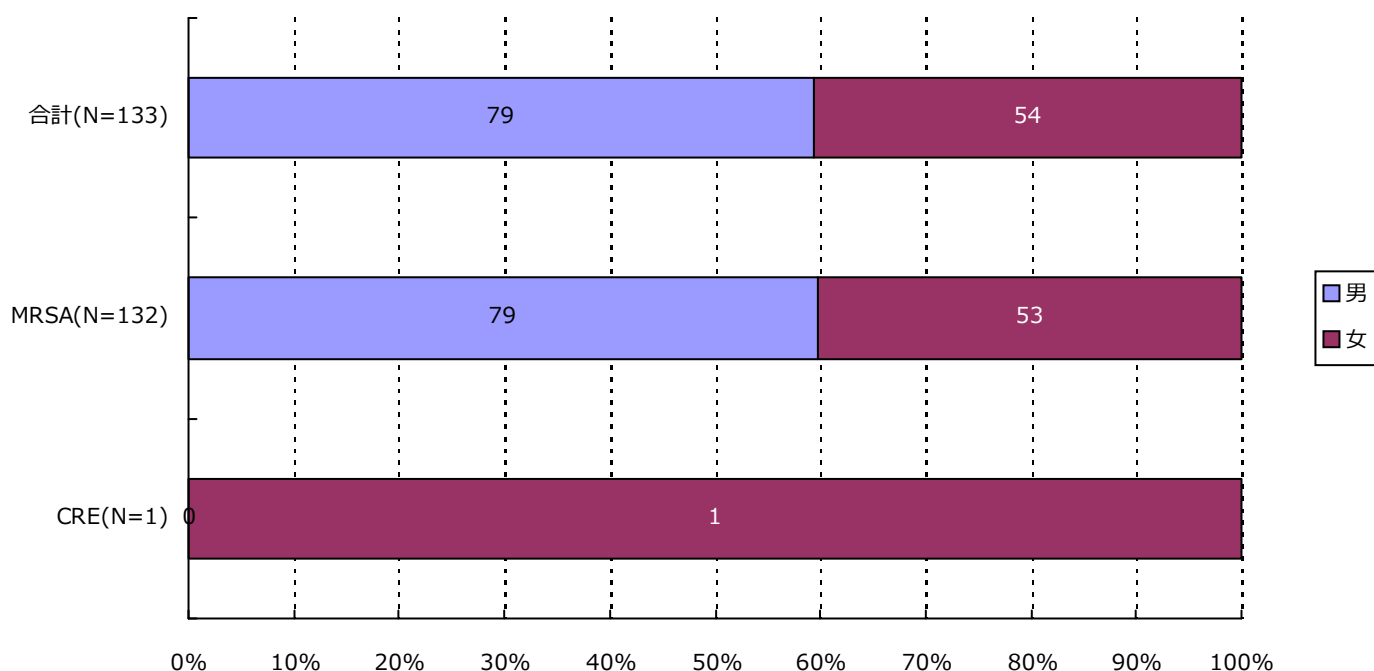
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

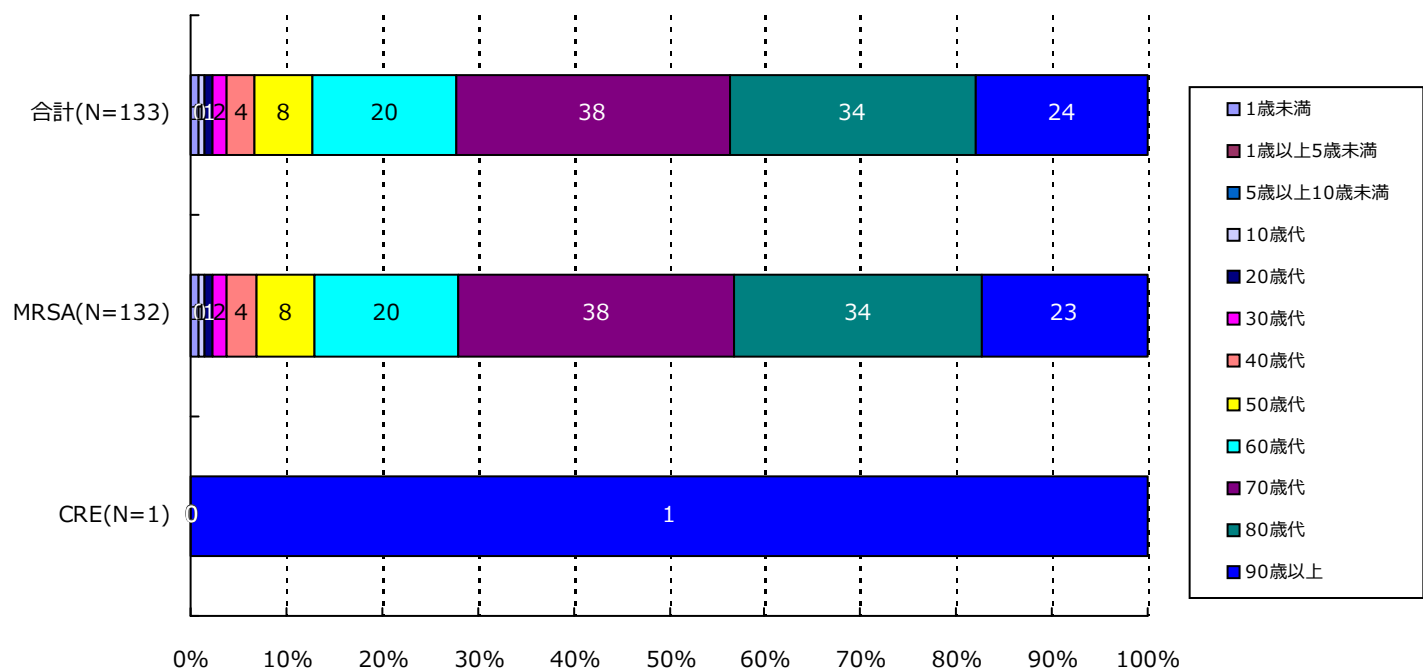
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	79 (59.4%)	79 (59.8%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
女	54 (40.6%)	53 (40.2%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0%)
合計	133	132	0	0	0	0	0	1

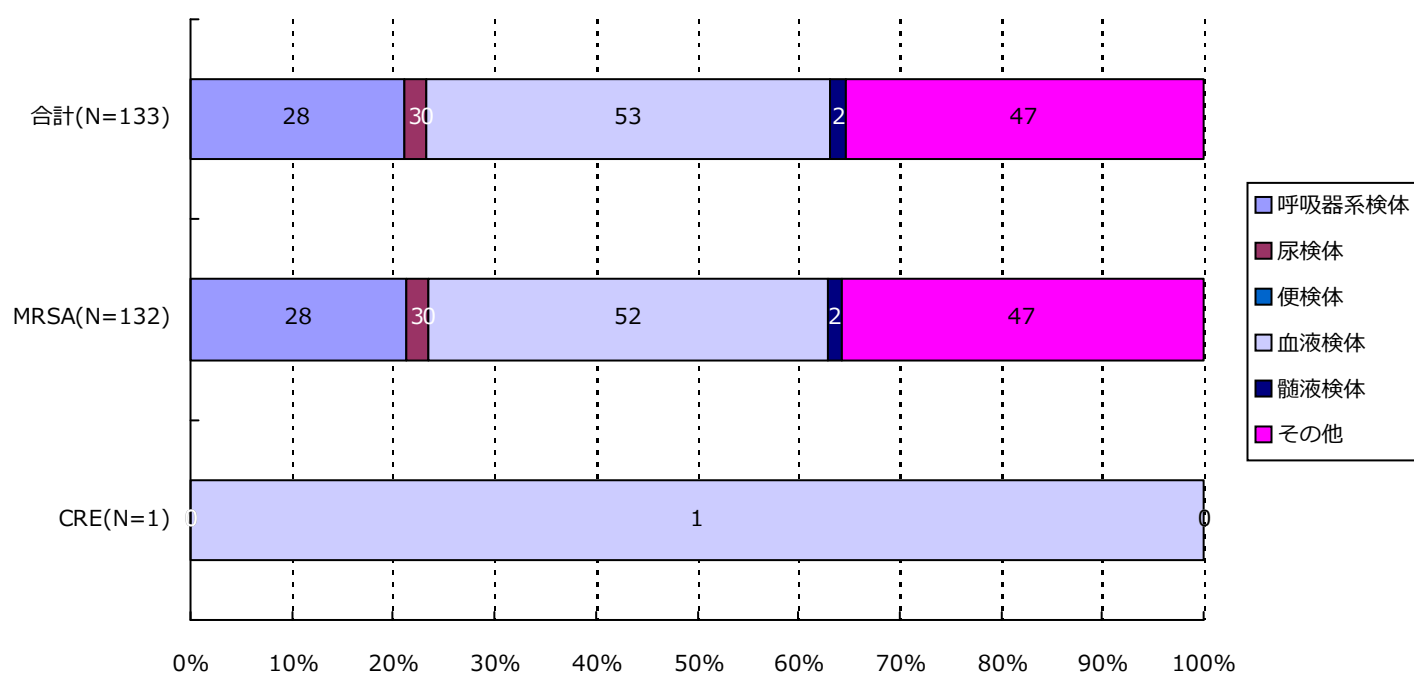


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	1(0.8%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.8%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	1(0.8%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(1.5%)	2(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	4(3.0%)	4(3.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	8(6.0%)	8(6.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	20(15.0%)	20(15.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	38(28.6%)	38(28.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
80歳代	34(25.6%)	34(25.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	24(18.0%)	23(17.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
合計	133	132	0	0	0	0	0	1

5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳

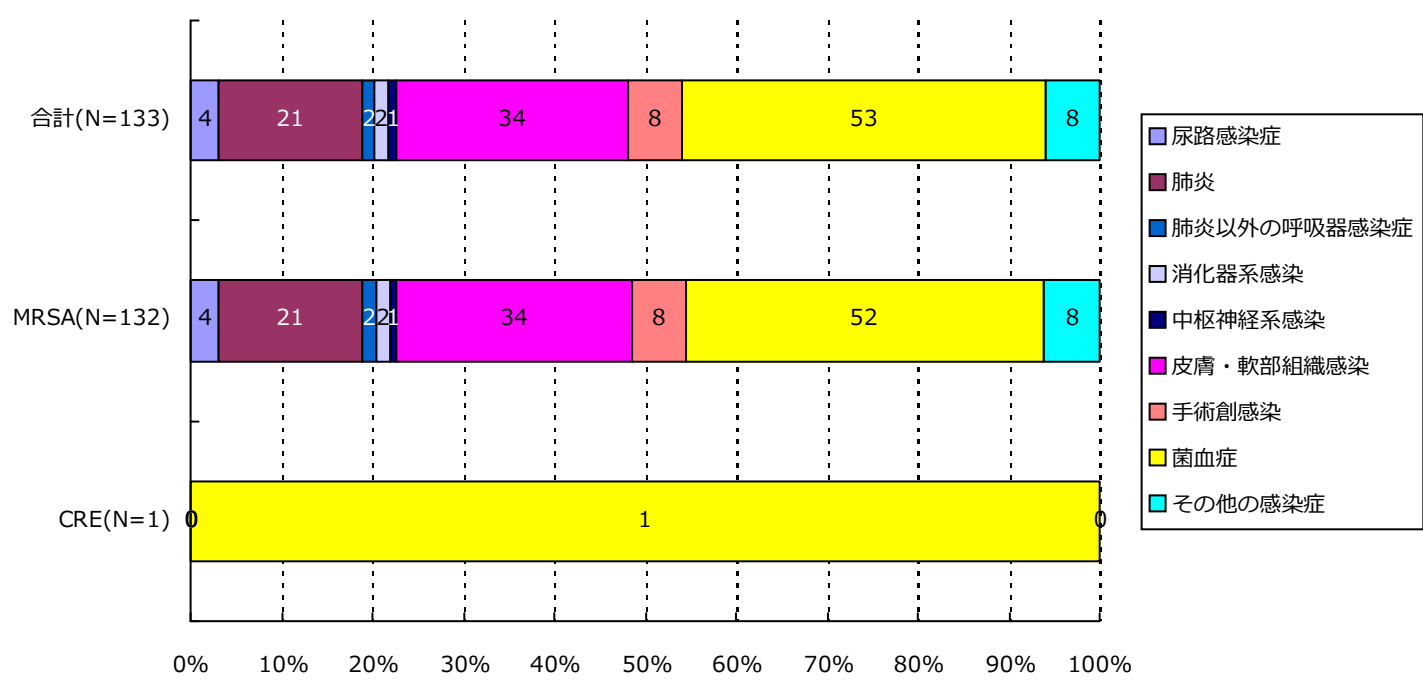


分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	28(21.1%)	28(21.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	3(2.3%)	3(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	53(39.8%)	52(39.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
髄液検体	2(1.5%)	2(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	47(35.3%)	47(35.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	133	132	0	0	0	0	0	1

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

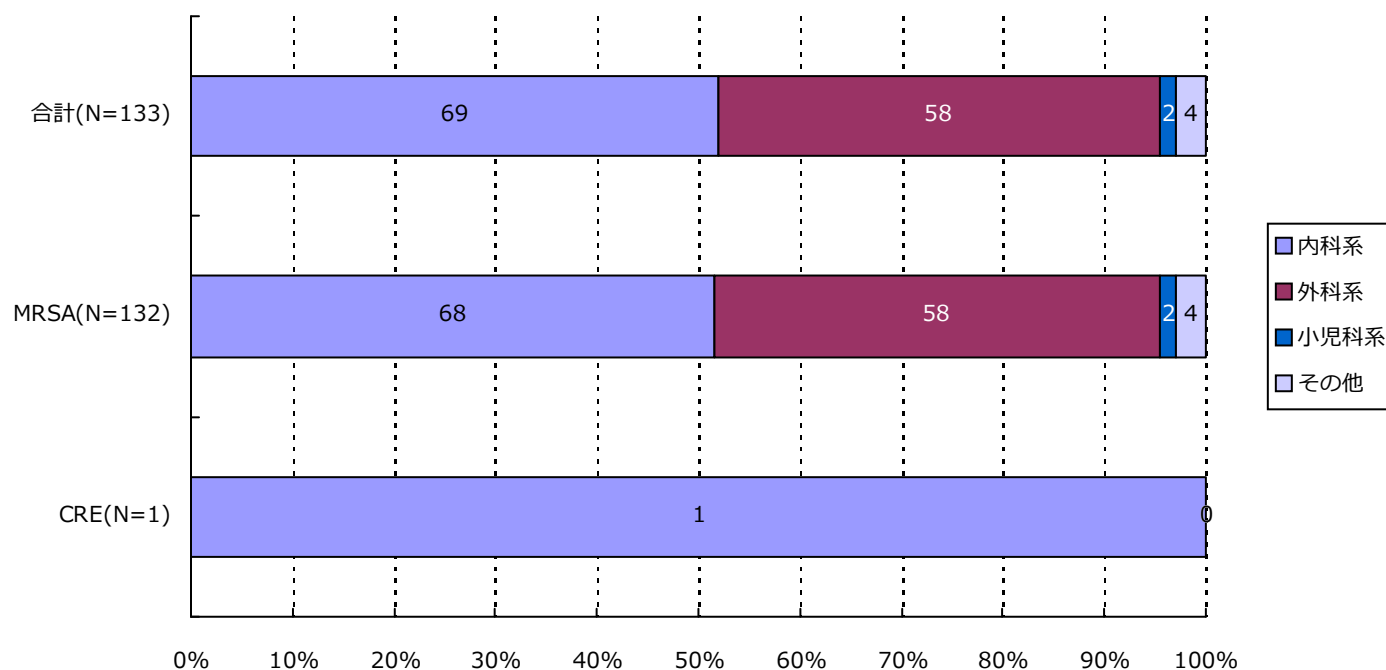


6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	4(3.0%)	4(3.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	21(15.8%)	21(15.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	2(1.5%)	2(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	2(1.5%)	2(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	1(0.8%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	34(25.6%)	34(25.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	8(6.0%)	8(6.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	53(39.8%)	52(39.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
その他	8(6.0%)	8(6.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	133	132	0	0	0	0	0	1

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	69(51.9%)	68(51.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
外科系	58(43.6%)	58(43.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
小児科系	2(1.5%)	2(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	4(3.0%)	4(3.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	133	132	0	0	0	0	0	1

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査の基準に準拠